

2023年度

事業報告書

社会福祉法人
札幌報恩会

— 目次 —

I	2023 年度 施策の成果	1
1.	事業の期間	1
2.	施策の成果	1
II	2023 年度 事業実績	2
1.	法人本部 実績	2
(1)	財務の視点～経営管理、財務管理	2
(2)	利用者・地域の視点～サービス管理、マーケティング	2
(3)	業務改善の視点～リスクマネジメント	2
(4)	人材育成の視点～人事労務、労務管理	3
(5)	理事会・評議員会の開催及び監事監査の実施	3
1.	理事会の開催	3
2.	評議員会の開催	4
3.	監事監査の実施	4
(6)	会計監査人監査状況(養和監査法人)	5
(7)	新人及び中途採用試験結果(合格者)、退職者推移	6
(8)	避難訓練	7
(9)	法人研修	8
(10)	法人行事関連	9
(11)	職員厚生会	9
(12)	経営コンサルタント実績	10
1.	会計監査	10
2.	職員研修	11
3.	預り金監査	11
4.	法人研修計画冊子 作成	11
5.	労務顧問	11
6.	拠点別の課題整理	11
(13)	地域貢献事業(取り組み状況)	12
(14)	設備の改善状況	13

2. 各事業所実績	14
【札幌報恩学園 概要】	14
施設入所支援・生活介護・短期入所	
【グリーンホーム厚別 概要】	24
施設入所支援・生活介護・短期入所	
【そよ風 概要】	32
生活介護	
【ワークショップ上野幌 概要】	36
生活介護・就労継続支援A・就労継続支援(B型)～ 多機能型	
【のぞみ寮 概要】	41
宿泊型自立訓練	
【くるみ寮 概要】	46
共同生活援助 ～ 介護サービス包括型	
【ホープス 概要】	50
就労継続支援(B型)・就労移行支援 ～ 多機能型	
【サポート 91 概要】	54
居宅介護・行動援護・重度訪問介護・同行援護・移動支援	
【ステーション 106 概要】	57
相談支援	
【就業・生活相談室しんさつぼろ 概要】	61
就業・生活相談	
【まごころ保育園 概要】	64
保育事業	
【幌西ほうおん 概要】	71
生活介護・就労継続支援(B型)～ 多機能型	

I. 2023 年度 施策の成果

1. 事業の期間

2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日

2. 施策の成果

(1) 法人経営統括

新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したことに伴い、法人の行事や活動も通常に近い形となった。一部残念ながらクラスターが発生し、利用者や職員が感染したものの重症患者を出すことはなかったが、新型コロナウイルスの感染力の強さをつくづく感じさせられた。手指消毒や換気等は継続しながらもご家族の方のご理解、ご協力のもと面会制限も行った。どんな時も利用者の日常生活を安定して提供する支援体制の在り方を認識させられた。さらに職員等の配置は国の配置基準をクリアしているが現場としての欠員状況があり、年度内の人材確保は厳しい状況であった。札幌市や北海道からの補助金の申請を確実にしながら財政運営に努めたが、物価高騰による影響を受け、諸経費の増額を強く感じられた。今後も継続的な負担が見込まれることから更なるコスト削減も意識しつつ堅実な財政運営を進める必要がある。

11月に山下理事長が逝去され、任期途中の交代があったが審議のうえ選任を滞りなく行うことができた。さらなる公正で安定した運営をめざすスタートとなった。

(2) 第 5 次中期経営計画 2 年目

中期経営計画の機能別 4 分野について、2023 年度についての施策成果(達成状況)を報告する。

別紙 中期経営計画 2023 年事業報告(達成状況)参照

Ⅱ. 2023 年度 事業実績

1. 法人本部 実績

(1)財務の視点～経営管理、財務管理

- ・理事会、定時評議員会は予定通り開催されたが、山下理事長逝去により新理事長の推薦、就任についての理事会、評議員会が開催された。
- ・6月、11月と2回の環境整備委員会を開催、敷地内部の検分を実施。
- ・会計監査人による定期監査を実施。実務的な指摘事項が減ってきている。
- ・財務分析は収支的にはコロナ前の状況に近づいたと思われるが、低迷している事業があり事業継続の検討が必要である。
- ・預り金監査は外部に委託して実施。
- ・設備計画(購入、工事、改修等)は緊急・重要性のあるものを中心に特に札幌報恩学園の浴室脱衣所エアコン設置工事と座位入浴装置設置工事、さくら前浴室改修工事、くるみ寮スプリンクラー設置工事の入札を行った。
- ・グリーンホーム厚別の椎茸小屋石油タンクより灯油が流出し対応策に年度がまたがり1,440万円の支出となった(うち保険適用890万円)

(2)利用者・地域の視点～サービス管理、マーケティング

- ・地域貢献活動委員会の企画により、全事業所合同町内会ゴミ拾い(年2回)、子育て支援によるミニ運動会、町内会合同防災訓練参加、介護予防センターによる「ふれあい元気教室」の協力を行った。
- ・café スミレは年間を通して営業を行い、来客数は1,800名を超えた。café ラベンダーも年間を通じて営業を行い、来客数は2,800名を超えた。短時間営業ではあるが、週5日(土・日休業)の営業を開始し地域のお客様もご利用いただけた。
- ・利用者様が自由にお話できる「何でも相談会」(利用者様と外部の方)を実施した。今後も継続していく。
- ・幌西連合町内会主催の夏まつりを幌西ほうおんの敷地内で開催。

(3)業務改善の視点～リスクマネジメント

- ・コンプライアンス委員会、人権擁護委員会を開催し、啓発活動を実施。
- ・法人合同の災害訓練を継続実施。毎年想定災害を変えて行っている。
- ・ホームページ委員会よりタイムリーな情報を提供できた。
- ・今年度もオンラインシステムによるweb会議「zoom」をフルに活用した。
- ・情報管理を含むIT関連の整備を進めることができなかった。

(4)人材育成の視点～人事労務、労務管理

- ・学校関連に毎月採用試験の案内を送付し、業者を使い広範囲に募集案内を出して計画的雇用を図ったが欠員状況を埋めるまでには至らなかった。
- ・学校への案内だけではなく就職活動のフェアへの参加、定期的な職場見学会を実施した。
- ・法人研修会、外部講師を招いての研修会等、階層別に実施。
- ・資格取得制度を利用した職員は 5 名。

(5)理事会・評議員会の開催及び監事監査の実施

1. 理事会の開催

開催回	開催年月日	審 議 事 項	
第 1 回	2023 年 2 月 22 日(水)	報告第 1 号 第 3 四半期監事監査結果の報告について 報告第 2 号 理事長及び業務執行理事の業務執行報告、業績管理報告について 報告第 3 号 固定資産の除却について 報告第 4 号 札幌市指導監査の結果 議案第 1 号 事業所運営規程の一部改正について 議案第 2 号 法人規程の一部改正及び追加について 議案第 3 号 期末賞与の支給について	承認 承認 承認 承認 可決 可決 可決
第2回	2023 年 3 月 24 日(金)	報告第 1 号 札幌市指導監査の結果 議案第 1 号 2022 年度 第二次補正予算(案)について 議案第 2 号 2023 年度 事業計画(案)について 議案第 3 号 2023 年度 各拠点区分当初予算(案)について 議案第 4 号 2023 年度 建設等実行委員会継続及び委嘱事項について 議案第 5 号 2023 年度 法人管理者の人事異動及び任命について 議案第 6 号 コンサル業者の 2022 年度業務報告と 2023 年度契約更新について	承認 可決 可決 可決 可決 可決 可決
第3回	2023 年 6 月 9 日(金)	報告第 1 号 第 4 四半期決算の監事監査結果及び 会計監査の報告について 報告第 2 号 理事長及び業務執行理事の業務執行報告、 業績管理報告について 議案第 1 号 2022 年度 事業報告の承認について 議案第 2 号 2022 年度 決算に係る決算書類及び 財産目録の承認について 議案第 3 号 2022 年度 社会福祉充実残額の算定結果について 議案第 4 号 法人規程の一部改正について 議案第 5 号 理事候補者の推薦について 議案第 6 号 監事候補者の推薦について 議案第 7 号 定時評議員会の招集事項決定について	承認 承認 可決 可決 可決 可決 可決 可決
第 4 回	2023 年 6 月 24 日(土)	議案第 1 号 理事長互選の件 議案第 2 号 業務執行理事の選任の件	可決 可決

開催回	開催年月日	審 議 事 項	
第 5 回	2023 年 9 月 8 日(金)	報告第 1 号 第 1 四半期監事監査結果及び会計監査の報告について 報告第 2 号 理事長及び業務執行理事の業務執行報告、 業績管理報告について 報告第 3 号 建設等実行委員会からの報告 報告第 4 号 理事長専決事項 議案第 1 号 各事業所運営規程の一部改正について	承認 承認 承認 承認 可決
第6回	2023 年 11 月 15 日(水)	報告第 1 号 理事長の急逝について 議案第 1 号 理事候補者の選出について 議案第 2 号 山下理事長逝去に伴うお別れ会の執行並びに 当該予算について 議案第 3 号 臨時評議員会の招集事項決定について	承認 可決 可決 可決
第 7 回	2023 年 11 月 23 日(木)	議案第 1 号 理事長の選定について 議案第 2 号 業務執行理事の選定について	承認 承認
第8回	2023 年 12 月 1 日(金)	報告第 1 号 第 2 四半期監事監査の結果報告について 報告第 2 号 理事長及び業務執行理事の業務報告、 業績管理報告について 報告第 3 号 2023 年度 建設等実行委員会からの報告について 議案第 1 号 事業所運営規程一部変更について	承認 承認 承認 承認 可決
第1回	2024 年 2 月 22 日(木)	報告第 1 号 第 3 四半期監事監査結果の報告について 報告第 2 号 理事長及び業務執行理事の業務執行報告、 業績管理報告について 報告第 3 号 まごころ保育園指導監査の実施結果について 議案第 1 号 事業所運営規程の一部改正について 議案第 2 号 法人規程の一部改正について	承認 承認 承認 承認 可決 可決
第2回	2024 年 3 月 26 日(火)	議案第 1 号 2023 年度 第一次補正予算(案)について 事案第 2 号 2024 年度 事業計画(案)について 議案第 3 号 2024 年度 各拠点区分当初予算(案)について 議案第 4 号 福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金手当及び 期末賞与の支給について 議案第 5 号 ホープス事業形態変更と運営規程一部改正について 議案第 6 号 2024 年 くるみ寮(すみれ寮)スプリンクラー設置工事 について 議案第 7 号 2024 年度 建設等実行委員会継続及び委嘱事項 について 議案第 8 号 2024 年度 法人管理者の人事異動及び任命について 議案第 9 号 コンサル業者の 2023 年度業務報告と 2024 年度契約更新について	可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決

2. 評議員会の開催

開催回	開催年月日	審 議 事 項	
第 1 回	2023 年 6 月 24 日(土)	報告第 1 号 2022 年度決算に係る監事監査報告及び 会計監査報告について	承認

		議案第 1 号 2022 年度事業報告の承認について 議案第 2 号 2022 年度決算に係わる計算書類及び 財産目録の承認について 議案第 3 号 2022 年度社会福祉充実残額の算定結果について 議案第 4 号 法人理事の選任について 議案第 5 号 法人監事の選任について その他 2023 年度 事業計画及び各拠点区分当初予算について	可決 可決 可決 可決 可決 承認
第2回	2023 年 11 月 23 日(木)	議案第 1 号 理事の選任について	承認

3. 監事監査の実施

第1回	2023年8月23日(水) (4月から6月分)	1 小口現金の実査 2 預金残高の確認 3 会計処理(第1から4四半期) 4 予算執行状況確認
第2回	2023年11月22日(水) (4月から9月分)	5 法人運営関係確認 6 決算作業(第4回)
第3回	2024年2月14日(水) (4月～12月分)	
第4回	2024年6月4日(火) (決 算)	

(6) 会計監査人監査状況(養和監査法人)

訪問日	実査内容	備考
・2023年3月22日～ 24日	*内部統制運用評価、実証手続	
・2023年4月6日	実査・確認手続 ・小口現金等実査	
・2023年5月18日～ 24日	*期末監査	
・2023年8月28日～ 30日	*内部統制の整備状況の確認 *期中取引の検証	
・2023年12月7日～ 8日	*内部統制監査 *期中実証手続	
・2024年3月32日～ 24日	*内部統制運用評価、実証手続	
・2024年4月3日	*現金実査	

(7)新人及び中途採用試験結果(合格者)、退職者推移

<令和5年度新人採用の件>

- ・4/19 採用試験実施 1名受験 1名合格
- ・5/27 採用試験実施 1名受験 1名合格 (内定後辞退)
- ・10/6 採用試験実施 2名受験 2名合格 (内定後1名辞退)
- ・10/28 採用試験実施 1名受験 1名合格
- ・11/29 採用試験実施 2名受験 2名合格
- ・1/30 採用試験実施 2名受験 2名合格

合計9名(支援員:男性 4名 女性 2名、
保育士:男性1名 女性1名、 栄養士:1名)
<うち内定後2名 辞退:男性1名、女性1名>

<入 職>

(新 任)

- ・4月:正職員 13名(報恩5名、グリーン3名、ワーク1名、まごころ4名)
 - 臨職 0名(報恩)
 - パート 1名(まごころ1名)
- (うち 臨職から正職へ2名登用:報恩 1名、グリーン 1名)

(中 途)

- ・5月:正職員 1名(報恩1名)
 - パート 1名(ワーク1名⇒8/1付 臨職)
 - ・6月:パート 1名(サポート1名)
 - ・7月:正職員 1名(報恩1名)
 - パート 4名(報恩2名、くるみ2名)
 - ・8月:パート 2名(まごころ2名)
 - ・9月:正職員 2名(報恩2名)
 - パート 1名(グリーン1名)
 - ・10月:パート 1名(幌西1名、報恩(本部付)1名)
 - ・11月:パート 3名(報恩1名、くるみ1名、幌西1名)
 - ・12月:パート 1名(そよ風1名)
 - ・1月:臨職 1名(報恩1名)
 - ・2月:臨職 2名(報恩1名、くるみ1名)
 - ・3月:パート 2名(くるみ2名)
- (正職員 18名、臨職 3名、パート 16名)

<退 職>

- ・5月:正職員 1名(報恩1名)
- パート 1名(ワーク1名)
- ・6月:正職員 2名(報恩1名、ワーク1名)
- パート 1名(グリーン1名)
- ・7月:正職員 3名(報恩1名、グリーン1名、まごころ1名)

- ・8月:パート 1名(まごころ1名)
- ・9月:正職員 3名(報恩1名、ワーク1名、まごころ1名)
- ・10月:パート 2名(くるみ2名)
- ・11月:パート 1名(そよ風1名)
- ・1月:正職員 1名(報恩1名)
- ・2月:正職員 1名(報恩1名)
- ・3月:正職員 10名(報恩3名、グリーン2名、そよ風2名、くるみ1名、サポート1名、まごころ1名)
- 臨職 2名(くるみ1名、しんさつぼろ1名)
- パート 9名(くるみ6名、ワーク1名、幌西2名)
- (合計:正職員 20名、臨職 2名、パート 15名、嘱託0名)

<離職率>

	2023.4~2024.3			2022.4~2023.3			2021.4~2022.3		
	職員数 4/1	離職 者数	離職率	職員数 4/1	離職 者数	離職率	職員数 4/1	離職 者数	離職率
正職員	222	20	9.00%	231	24	10.38%	246	24	9.75%
臨時職員	16	2	12.5%	12	3	25%	11	1	9.09%
全 体	238	22	9.24%	243	27	11.11%	257	25	9.72%

(8)避難訓練

①札幌報恩学園

・7/19(夜間想定訓練)実施

②グリーンホーム厚別・そよ風

・5/10、7/12、11/8(グリーン:夜間想定訓練、そよ風:通常の訓練)実施

③ワークショップ上野幌

・5/23、11/9、2/16 実施

④のぞみ寮

・6/21、8/12、10/16、10/19 実施

⑤くるみ寮各ホームにて実施

・5/10、5/13、5/20、6/4、6/5、6/14、6/23、6/28、10/9、10/12、
10/17、10/25

⑥ホープス

・5/16、7/11、11/14 実施

⑦幌西ほうおん

・5/17、7/7、9/1 実施

⑧まごころ保育園

- ・4/12、5/10、6/23、7/5、8/17、10/11、11/9、12/6、1/10、2/7、3/5
実施

⑨全体

- ・9/1 法人災害訓練 実施
- ・3/14 法人火災訓練 実施

(9)法人研修

- ・6/ 6 福祉施設の職員としてのルール、接遇、マナー、言葉遣い、
身だしなみ（全職員）
- ・6/20 2023 年度事業計画説明会
- ・7/ 1～30 札幌市出前講座「虐待防止研修(ZOOM)」(若手職員)
- ・7/ 4 定着率向上のポイント（課長以上）
- ・7/ 12 安全運転講習(全職員)
- ・7/ 24 アンガーマネジメント研修 1
- ・8/1 相手に伝わる支援記録の残し方
- ・8/24 救急救命講習（未受講者）
- ・8/30 メンタルヘルス講習
- ・9/5 被考課者向け人事考課制度研修(被考課者)
- ・9/13 防犯(全職員)
- ・10/3 SNS 活用のポイントと留意点
- ・10/11 メンタルヘルス研修(全職員)
- ・11/1 介護技術(全職員)
- ・11/7 考課者向け人事考課制度研修(考課者)
- ・11/28 アンガーマネジメント研修 2(1 回目受講者)
- ・12/4 業務改善
- ・12/13 職員の健康管理(35 歳以上職員)
- ・12/19 高齢化・重度化関連
- ・1/17 救急救命講習(未受講者)
- ・1/30 虐待防止研修
- ・2/13 各事業所ケース研究(地域系事業所)
- ・2/14 各事業所ケース研究(グリーンホーム)
- ・2/22 各事業所ケース研究(札幌報恩学園)
- ・3/25～29 新任研修

(10)法人行事 関連

① 運動会

- ・実施日:2023 年 6 月 18 日(日)
- ・会 場:ノホロの丘小学校
- ・内 容:コロナ前のような内容にて開催、外部の敷地開催はファイナル

② 慰霊祭

- ・実施日:2023 年 6 月 28 日(水) 11 時～11 時 30 分
- ・会 場:ポチ、報恩碑前
- ・内 容:冥福を祈りながら、哀悼の意を表するとともに、私たちが未来へ向けて
一歩を踏み出せるような思いを込めて開催

③ 報恩まつり

- ・実施日:2023 年 9 月 23 日(土)
- ・会 場:交流ホームひまわり周辺等
- ・内 容:コロナ前のような通常開催

④ 同窓会

- ・実施日:2023 年 10 月 29 日(日)
- ・会 場:新さっぽろアーキシティホテル
- ・内 容:ホテルでの開催、81 名の参加者

⑤ 創立記念日

- ・実施日:2023 年 11 月 30 日(木)
- ・会 場:地域交流ホームひまわり
- ・内 容:お饅頭贈呈式、2 名のサキソフォン演奏者によるライブ開催

⑥ 成人のお祝い会

- ・実施日:2024 年 1 月 9 日(火)
- ・会 場:地域交流ホームひまわり
- ・対象者:新成人 7 名、出席者 2 名(幌西ほうおんより)
- ・内 容:写真撮影、記念品贈呈等

⑦ 報恩あーと展(参観日は中止内容を変更)

- ・実施日:2024 年 2 月 25 日(日)
- ・会 場:地域交流ホームひまわり
- ・内 容:あーと展を主として参観日を中止

(11)職員厚生会 関連(会員数;252名)

<事業報告>

①スポーツ観戦(7/28, 9/28、11/11)3 回

- ・プロ野球観戦 2 回、Jリーグ観戦 計 104 名参加

②納涼祭(8/25、8/18、8/10、8/19、8/26)

・各事業所で開催 計 132 名参加

③演劇鑑賞(10/11, 10/26)

・リトルマーメイド、クレイジーフォー・ユー 計 51 名参加

④忘年会(12/22)

・ホテルニューオータニ 計 119 名参加

⑤新年会 中止

<慶弔金搬出事業>

・餞別 29 件、香典等 11 件、見舞金 10 件、お祝い金 10 件

<会議>

・第 1 回:令和 5 年 5 月、第 2 回:令和 6 年 2 月、第 3 回:令和 6 年 3 月

(12)経営コンサルタント実績

【コンサル業者】

吉岡マネジメントグループ

ビズアップ人事コンサルティング株式会社

【期間】

2023 年 4 月 1 日より 2024 年 3 月 31 日

【2023 年度 実績報告】

1. 会計監査(計 12 回)実施

(1)決算業務指導

①拠点間繰入収益、費用の整合性確認、修正指導

②固定資産管理・登録に関する助言

(2)会計指導

①サービス区分間における按分経費に関する助言・指導

②減価償却、固定資産処分に関する仕訳処理の助言

③システム設定の一部不具合の指摘

④資産の科目、耐用年数に関する助言

⑤事業間、拠点間内部取引消去の確認

⑥資金収支計算書未反映の仕訳について修正指導

⑦資本的支出と修繕費に関する助言

2. 職員研修

(1)階層別研修

- | | |
|-----------------------------------|-----------------|
| ①福祉施設の職員として働くルール、接遇マナー、言葉遣い、身だしなみ | 2023 年 6 月 6 日 |
| ②定着率向上のポイント | 2023 年 7 月 4 日 |
| ③相手に伝わる支援記録の残し方 | 2023 年 8 月 1 日 |
| ④SNS 活用のポイントと留意点 | 2023 年 10 月 3 日 |
| ⑤改善スキルを身につけサービスの質を高める | 2023 年 12 月 4 日 |

(2)人事考課制度研修

- | | |
|------------------|-----------------|
| ①被考課者向け 人事考課制度研修 | 2023 年 9 月 5 日 |
| ②考課者向け 人事考課制度研修 | 2023 年 11 月 7 日 |

(3)新人研修

- ①ビジネスマナー、接遇 2024 年 3 月 29 日

3. 預り金監査

2023 年 11 月 16 日実施

4. 法人研修計画冊子 作成

貴法人理事・課長職と意見交換しながら、法人研修計画冊子を作成。

【法人研修計画冊子 目次】

- I. 基本方針
- II. 求められる職員像
- III. 5つの育成目標
- IV. 研修体系
- V. 階層別 研修テーマ
- VI. 研修評価体制
- VII. 令和 5 年度 研修計画

5. 労務顧問

・4週8休の導入に向けたシミュレーション、トライアル実施

6. 拠点別の課題整理

- ・SWOT 分析、課題設定、今後の施策を検討
- ・2024 年度 継続して検討

(13)地域貢献事業(取り組み状況)

1. 地域貢献

- ・6/13、10/18 ほうおんクリーン DAY(全事業所合同町内ゴミ拾い活動)
- ・10/19 子育て支援活動「ミニ運動会」
- ・10/7 町内会合同防災訓練
- ・9/28～12/14 「すこやか倶楽部(軽体操)」介護予防センター主催
全 10 回 開催

2. ボランティアの受け入れ

- ・補修～2023 年度 延べ人数 34 名
 - ・園芸～グリーンホーム厚別 各 2 名：4/10、4/17、4/24、5/2、5/9、5/15、5/22、5/30、6/6、6/12、6/26、7/3、7/10、7/18、7/24、8/3、8/8、8/21、8/28、9/4、9/11、9/20、9/27、10/2、10/10、10/16、10/26、11/2、11/20、11/27、2/5、2/13、2/19、2/27、3/4、3/11、3/18、3/29
- （※コロナ感染予防対策実施）

3. 実習生の受け入れ(大学、専門学校生)

- ・札幌報恩学園 10 名
- ・グリーンホーム厚別、そよ風 4 名
- ・まごころ保育園 2 名
- ・ワークショップ上野幌 4 名
- ・幌西ほうおん 1 名

4. カフェの来店者数

- ・カフェ すみれ
来客数:4月 138名、5月 122名、6月 192名、7月 123名、
8月 189名、9月 181名、10月 180名、11月 152名、
12月 114名、1月 144名、2月 156名、3月 154名
合計 1,845名
- ・カフェ ラベンダー
来客数:4月 85名、5月 253名、6月 370名、7月 221名、
8月 227名、9月 283名、10月 262名、11月 292名、
12月 202名、1月 165名、2月 266名、3月 204名
合計 2,830名

(14)設備の改善(設備投資計画より)

(単位;千円)

事業所名	事業名	金 額
本部	パソコン関連	248
	除雪業務	1,320
	ストレスチェック検査料金	371
	敷地内枝払い等	66
札幌報恩学園	パソコン関連	1,238
	特殊浴槽	6,330
	浴室改修	6,930
	ベッド関連	440
	厨房関連	1,886
	浴室エアコン	6,380
グリーンホーム厚別	パソコン関連	248
	灯油修繕	7,787
	厨房関連	907
そよ風	暖房機	211
ワークショップ上野幌	パソコン関連	495
のぞみ寮	パソコン関連	495
くるみ寮	パソコン関連	495
	エアコン	464
サポート 91	パソコン関連	495
まごころ保育園	パソコン関連	495
	エアコン	1,320
計		38,621

2. 各事業所 実績

【札幌報恩学園 概要】

— 施設入所支援・生活介護・短期入所 —

1. 支援目標(反省)

- 生活介護においては、利用者さまが自立した日常生活または社会生活が出来るよう、入浴、排泄及び食事の介護、創作的な活動または生産活動、その他の便宜を適切かつ効果的に実施した。
- 入所支援においては、主として夜間において入浴、排泄または食事の介護、生活等に関する相談及び助言その他の必要な日常生活上の支援活動を行った。
- 短期入所、日中一時支援事業においては、新型コロナウイルス感染対策や職員の欠員状況の観点からやむを得ず受け入れを制限した。

2. 利用者支援

(1)受け入れ目標

①知的障がい者、施設入所支援

入所利用者の定員	145名(入所契約者数147名)
受け入れ目標(年間延べ)	51,477名 (145名×366日×0.97)
受け入れ実績	52,029名

②知的障がい者、生活介護

利用者の定員	145名 (生活介護契約者数147名)
受け入れ目標(年間延べ)	38,367名 (145名×270日×0.98)
受け入れ実績	38,739名

③知的障がい者(児)短期入所事業

受け入れ枠定員	5名
受け入れ目標(年間延べ)	350名
受け入れ実績	111名

④日中一時支援事業の受入れ

受け入れ枠定員	6名
受け入れ目標(年間延べ)	10名
受け入れ実績	2名

(2)在籍実績

施設入所支援においては、51,477 名の目標に対して実績 52,029 名、生活介護も同じく 38,367 名に対し、実績 38,739 名となり両事業とも目標を達成することができた。短期入所については、施設内での新型コロナウイルス感染症や職員欠員状況による受け入れ制限の影響から実績 111 名、日中一時支援においても実績 2 名の利用にとどまり未達成となった。

【施設入所支援】

①利用者人数調べ

区 分	人 員		
	男	女	計
2022 年度から本年度への繰越人員	98	49	147
本年度中の入所者数	0	0	0
本年度中の利用者総数	98	49	147
本年度中の退所者数	2	1	3
差引本年度から 2024 年度への繰越人員	96	48	144
創立以来の利用者総数(大正 7 年 11 年 30 日)	864	428	1,292

②月別人数調べ

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
契約者数	147	146	146	146	146	146	146	145	145	145	145	144	1,747
月平均 施設入所	142.8	143.6	143.9	143.4	141.5	142.1	143.3	142.6	140.3	139.5	141.2	141.2	142.1
入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退所	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	3

③本年度入所利用者数調べ

男	女	計
0 人	0 人	0 人

④本年度退所者調べ

理 由	男	女	計
家 庭 引 取	0	0	0
就 職	0	0	0
他 施設への変更	0	0	0
グループホーム	0	0	0
死 亡	2	0	2
その他(入院退所)	0	1	1
計	2	1	3

⑤在籍者 区分別調べ (月初日現在)

月 程度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
障害支援区分 6	121	120	122	122	122	122	123	122	122	122	122	121	1,461
障害支援区分 5	23	23	22	22	22	22	21	21	21	21	21	21	260
障害支援区分 4	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	26
障害支援区分 3													
障害支援区分 2													
障害支援区分 1													
計	147	146	146	146	146	146	146	145	145	145	145	144	1,747

【生活介護】

①利用者人数調べ

区 分	人 員		
	男	女	計
2022 年度から本年度への繰越人員	98	49	147
本年度中の入所者数	0	0	0
本年度中の利用者総数	98	49	147
本年度中の退所者数	2	1	3
差引本年度から 2024 年度への繰越人員	96	48	144
創立以来の利用者総数(大正 7 年 11 年 30 日)	864	428	1,292

②利用者月別人数調べ

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
契約者数	147	146	146	146	146	146	146	145	145	145	145	144	1,747
生活介護 月平均	142.8	143.6	143.9	143.4	141.5	142.1	143.3	142.6	140.3	139.5	141.2	141.2	142.1
入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退所	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	3

③本年度入所者調べ

理 由	男	女	計
他施設より	0	0	0
在宅者	0	0	0
高等養護学校卒業者	0	0	0
計	0	0	0

④本年度退所者調べ

理 由	男	女	計
家 庭 引 取	0	0	0
就 職	0	0	0
他 施設への変更	0	0	0
グループホーム	0	0	0
死 亡	2	0	2
その他(入院退所)	0	1	1
計	2	1	3

⑤在籍利用者 区分別調べ (月初日現在)

程度 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
障害支援区分6	121	120	122	122	122	122	123	122	122	122	122	121	1,461
障害支援区分5	23	23	22	22	22	22	21	21	21	21	21	21	260
障害支援区分4	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	26
障害支援区分3													
障害支援区分2													
障害支援区分1													
計	147	146	146	146	146	146	146	145	145	145	145	144	1,747

(3)利用者の日課

7:30	朝食
8:00	歯磨き
8:30	自由時間
10:00	日中活動
11:45	手洗い
12:00	昼食
12:30	歯磨き
13:00	日中活動 (入浴)
16:30	自由時間 (入浴)
17:30	夕食
18:00	歯磨き 洗面
18:30	自由時間
21:00	就寝

＊基本的に月曜から金曜日は日中活動を毎日実施し、土曜日は月に2日から3日間、活動を行った。各ブロックの実態に合わせ、できる限り規則的な生活を心掛けた。

(4)部門目標(反省)

<さくら>

1. 高齢化に対応した支援を考える。

高齢化の評価ツール作成に取り組んだ。ヒヤリハットを活用し、高齢化に伴い、事故が起きそうな場所・内容などを挙げ、注意点などを確認した。個々に合った活動内容を検討し、まとめた。また、屋内で取り組める活動(足湯・マット運動・ボールプールなど)の導入を図った。

2. 利用者様の QOL 向上のため、再アセスメントを実施する。

会議の際、障がい特性や疾病をまとめた資料を配布し、周知を図った。また、毎月、利用者数名ずつ摂食アンケートを実施し、年間を通して全員の食事の見直し・周知などを行い、改善できた。活動内容などのアセスメントを実施し、各々の能力の把握に繋がった。

○年間行事報告

コロナが落ち着いたため、数年振りにバス外出行事でエスコンフィールドやサンピアザ水族館などの商業施設の見学を実施した。久しぶりの商業施設への外出で利用者様にも楽しんで頂けている様子だった。他にも季節行事や夏・冬休みの行事で季節の雰囲気を感じてもらえるように取り組んだ。

<ポピー>

1. 意思決定支援に配慮した支援を行います。

ア)利用者様の意思を汲み取った支援を行います。

・外出時に使用する選択カードを作成した。行先に合わせて選択してもらい、選んだものを購入、飲食できた。選択するのが難しい利用者様もあり、その方たちへのアプローチが今後の課題である。

イ)利用者様にも企画に参加し、行事を実施しよう。

・職員の欠員により、行事の企画自体難しい時期もあったが、クリスマス会や冬休みの行事の一部に利用者様の意見を反映する形で参加することが出来た。

2. 高齢化に向けた取り組みをしよう

ア)利用者様にとって安楽な支援方法を考え実践しよう。

・正しいオムツのつけ方、移乗方法を動画、実践を通して身に付けた。また、ユーチューブ動画でオムツ交換の基礎、移乗の基礎を見て介護方法を学んだ。

イ)安心・安全な食事について考えよう。

・安定した食事量の確保や安心して食べて頂く為の方法についてアンケートを行った。各職員が実践している方法や工夫などを会議で共有し実施した。しかし、実践のみで終わり検証が出来なかった。

○年間行事報告

コロナの影響もあり前半に予定していた行事は、出前などが中心の企画となった。後半は外食に企画もあり、久しぶりの外出に喜ぶ姿が見られた。また、保護者参加も企画したが感染症の流行があり保護者参加は見送り、後日お弁当を自ら選んで購入し飲食した。出前等普段食べない食事をたべる事で笑顔が見られ、楽しんでいる様子だった。

<ルピナス>

1. 自閉症スペクトラム障害(ASD)の理解を深め、特性に合わせた支援を行います。

・自閉症スペクトラム障害の特性や拘りが強く、支援の難しさを感じやすい利用者様について職員向けにストレングス視点のアンケートを実施し、支援方法の見直しを行った。

2. 様々な場面で利用者様の意思や希望を汲み取った支援を行います。

・外出先で購入できる商品の写真カードを作成し、外出前に利用者様に食べたい物を選んで頂く機会を作ったことで、ご本人の希望に沿った物を購入できるようになった。

3. 権利擁護についての意識を高め、日々の支援に活かします。

・毎月の権利擁護テーマを支援員室に掲示し、日々の支援における権利擁護、虐待防止の意識を高められるようにした。

○年間行事報告

・3年ぶりに外出先で飲食できる機会を作ることができた。特にバス外出は利用者様が楽しんで参加している様子がみられた。暖かい季節には公園を散策したり、屋外でアイスクリームを食べる行事を実施できた。

<くらいらっく>

1. 高齢化に向けた取り組みをしよう。

①食事支援について、嚥下機能の低下が著しい利用者様について医師の指示に基づいた支援を行った。支援者がソフト食、刻み食＋トロミ剤の食事を嚥まずに飲み込む事を体験しスプーン1杯の目安や飲み込む感覚を知る事が出来た。②車いすへの移乗について、基本動作の確認と移乗方

法について実践した。車いすに不具合がないか小まめに点検を行った。③高齢化と認知症について、50 歳以上の利用者様 13 名について、普段と違う行動が見られた場合には記録に残していく事を継続する。

2. 意思決定支援に配慮した支援を行おう。

週末外出の他、日常の飲食物についての考察に取り組み、年間を通して担当者間で目標や方向性を共通認識する事が出来た。

3. 余暇の充実を図りましょう。

個別の取り組みを行う為に、アセスメントを行い玩具や遊びを提供した。DVD や CD 鑑賞を楽しみにしている利用者様には DVD の数が少なかったと感じられた。

○年間行事報告

・焼肉ツアーや温泉に出掛け利用者様がとても喜んでいて。週末外出では移動に費やす時間が多く、利用者様が店内の雰囲気を楽しむ、商品を選ぶ時間がなかった。ブロック行事としてたこ焼き・お好み焼きを楽しむことが出来た。

<ぽぶら>

1. 人権・意思決定支援に配慮した支援に努めよう。

・「人権とは何か」をまとめた資料を作成し人権についての振り返りを行った。ケース会議で人権に関する小テストを行い関心と理解を深めたが、内容を精査する必要があった。意思決定においては、外出先やメニューを選択できるように視覚的に配慮した提示物を作成し意思決定支援に努めた。

2. 余暇の過ごし方を充実させる

・自己選択を促す提示と嗜好調査を中心に行ってきました。提示一つとっても、写真、イラスト、現物、動画等の様々な媒体があり、利用者様によってもわかりやすい物が違うので個別でのアセスメントを行い、利用者様一人ひとりに合わせた提示を試みた。

3. 自閉症に関する理解を深めよう

・自閉症の障害特性や支援の場で使われる専門用語の解説からスタートして、1 名の利用者様に焦点を当て、支援者全員に自閉症の 7 つの特性シートを作成してもらった。それを基に各自で自立課題を製作した。

○年間行事報告

・コロナが 5 類になったことにより制限が緩和されたため、バス外出などの行事が行えてよかった。

・食べる行事が中心となってしまったので、もっと内容を工夫したい。

<あかしあ>

1. 個々に合わせた活動を提供し、気持ちの安定と身体機能の維持・向上を目指す

ア)利用者様のストレングスを活かした取り組みを行いましょう。

⇒アセスメントを実施して利用者様の得意な分野、不得意な分野を洗い出し、課題を新調した。

イ)リミック活動の充実を図りましょう。

⇒音楽に合わせて歩く、走る、バランスボールを使った運動等を取り入れて、内容的に理解しやすいものにした。

ウ)行動改善室を有効活用しましょう。

⇒行動改善室の奥の部屋に扉が付いた事で、活動のスペースを確保出来た。少ない人数配置の時でも稼働率を向上させる事に繋がったが、中での活動が充実した分、外に出る機会が減ったので一日に一回は歩行やコスモスに行く機会を設けていきたい。

2. 日々の暮らしを豊かに過ごして頂くよう、支援の工夫を行う。

ア)利用者様が自己決定出来る機会を増やしましょう。

⇒週末外出表の作成時に選択カードを用いて、利用者様に行きたい場所の聞き取りをした。新しい外出先を開拓してマンネリ化を避けるよう工夫していきたい。

イ)人権に配慮した支援をしましょう。

⇒毎月ホワイトボードに人権に関する資料を貼った。資料を貼るだけではなく講習的な形式も検討していきたい。

ウ)支援の質の向上を目指す為、話し合いの場を設けましょう。

⇒毎月ケース会議時に話し合いの場を設け、日常的にあまり議題に上がらない利用者様についての情報共有を行った。

○年間行事報告

・箱根牧場に焼肉を食べに行く外出行事を3回に分け実施することができた。

・行事の計画が不十分なことがあり、事前準備をしっかりとこなう必要があった。

3. 職員の勤務状況

(1)職員数、在籍数

施設長(管理者)	サービス管理責任者	生活支援員	事務員	栄養士	看護師	その他職員	協力医	心理士	合計	給食業務委託
1	4	(15) 90	(2) 4	2	(1) 1	(2) 1	(3)	(1)	(24) 103	(11) 6

※()は臨時職員、嘱託職員、パート職員、兼務職員 2024年3月31日現在

(2)職員の異動

新 任			退 任		
発令年月日	職 名	人 数	発令年月日	職 名	氏 名
2023.4.1～	生活支援員等	10 名	2023.4.1～	生活支援員等	9 名
グリーンホーム厚別からの異動			そよ風へ異動		
2023.4.1	生活支援員	2 名	2024.3.31	生活支援員等	3 名
2023.10.1	生活支援員	1 名	ワークショップ上野幌へ異動		
そよ風からの異動			2024.3.31	生活支援員	3 名
2023.4.1	生活支援員	1 名	2024.3.31	管理栄養士	1 名
ワークショップ上野幌からの異動			サポート 91 へ異動		
2023.4.1	生活支援員	1 名	2024.3.31	生活支援員	1 名
のぞみ寮からの異動			就業・生活相談室しんさっぽろへ異動		
2023.4.1	生活支援員等	1 名	2024.3.31	生活支援員	1 名
ホープスからの異動					
2023.4.1	生活支援員	2 名			
サポート 91 からの異動					
2023.4.1	生活支援員	1 名			
幌西ほうおんからの異動					
2023.4.1	生活支援員	1 名			

(3)職員の研修

期 日	研 修 名	開催地	出席者
5/16～18	強度行動障害支援者養成研修	オンライン	2 名
5/23～25	強度行動障害支援者養成研修	オンライン	1 名
5/25	ハラスメント防止研修	オンライン	1 名
6/13～15	強度行動障害支援者養成研修	オンライン	1 名
6/23	社会福祉法人愛敬園50周年記念公開研修会	札幌	1 名
6/29・30	全道知的障がい福祉協会全道施設長セミナー	札幌	1 名
7/18・19	北海道サービス管理責任者基礎研修	札幌	1 名
7/20	発達障害児者地域生活支援モデル事業研修会	札幌	1 名

7/21	北海道知的障がい関係支援員研修	札幌	3名
7/1～30	障害者虐待防止講座＜基礎編＞・＜取組編＞	オンライン	45名
8/14	北海道社会福祉協議会看護師専門研修	オンライン	1名
8/15	強度行動障害支援者養成研修	オンライン	1名
8/23	権利擁護セミナー	札幌	3名
8/25	施設長・管理者権利擁護特別研修	札幌	1名
9/11	北海道社会福祉協議会栄養士専門研修	オンライン	2名
9/28	災害対策研修会	札幌	1名
10/12	厚別地域部会事業所交流会	札幌	1名
10/13	全道知的障がい関係職員研究大会	札幌	3名
11/28・12/4	個別支援計画事業者研修会(基礎研修)	オンライン	1名
12/5	社会福祉法人・社会福祉施設ブロック研修道央地区	札幌	1名
12/12	幹部研修	札幌	2名
12/21	北海道サービス管理責任者基礎研修	オンライン	1名
1/18・19	障害者支援施設部会全国大会九州地区沖縄大会	沖縄	1名
1/30	社会福祉法人会計実務者決算講座	オンライン	1名
2/1	特定給食施設等研修会	オンライン	2名
2/6	社会福祉法人経営実務セミナー	札幌	1名
2/10	全道知的障害福祉関係職員研究大会動画視聴	オンライン	1名
2/19・20	全道施設長研修会	札幌	2名
2/19	障害福祉事業経営セミナー	オンライン	2名
2/24	四法人研修個別支援計画作成基礎研修	千歳	5名
2/27	障がい者権利擁護・虐待防止研修	札幌	2名
3/5	強度行動障害支援者養成研修	オンライン	1名
3/19	強度行動障害支援者養成研修	オンライン	1名
3/28	看護研修会(リハビリテーション看護コース)	オンライン	1名

(4)勤務時間

- ・4週8休に向けた取り組みとして、ぽぷらが11月より4週8休・1日8時間勤務のシミュレーションを実施した。大きな課題や混乱はなく、2024年度より報恩学園全体で4週8休の実施を行っていく。夜間においてもバックアップ職員が2名多く配置されていることにより、利用者様の状態に合わせた対応を行う事が出来た。

(5)諸会議

- ・定例の会議についてはほぼ集まって予定通り実施することができた。給食会議など一部でZOOMも併用した。

【グリーンホーム厚別 概要】

— 施設入所支援・生活介護・短期入所 —

1. 支援目標(反省)

- 生活介護においては、利用者さま一人ひとりが可能な限り、自立した日常生活や楽しい日々を過ごして頂けるよう、食事や入浴などの日常生活上の支援を行なった。また心豊かな生活となるよう創作活動や生産活動に加え、楽しく体を動かすレクリエーション活動や季節ごとの行事、ドライブや買物外出等の余暇の機会を提供した。
- 施設入所支援においては、日中活動と合わせて24時間365日、利用者さまが健康な生活が送れるよう、夜間や休日の食事、入浴、排泄、睡眠等の日常生活全般のサービスを提供し、健康管理、栄養管理、衛生面について専門職との連携を図りながら支援を行なった。また、加齢化に対する心身の変化にも寄り添い、一人ひとりが健康で安全、安心、快適な生活が送れるよう支援した。
- 短期入所、日中一時支援事業においては、コロナ禍のような制限を設けず、感染症予防対策を実施しながら緊急性の高いニーズにお応えした。また、困難ケースの利用者様の受け入れを専門機関の協力を得ながら実施した。

2. 利用者支援

(1)受け入れ目標

①知的障がい者、施設入所支援

入所利用者の定員	60名(入所契約数 60名)
受け入れ目標(年間延べ)	21,740名(60人×366日×0.99)
受け入れ実績	21,156名

②知的障がい者、生活介護

利用者の定員	60名(生活介護契約数 66名)
受け入れ目標(年間延べ)	15,552名(60人×270日×0.96)
受け入れ実績	17,241名

③知的障がい児(者)の短期入所の受け入れ

一日の受け入れ枠	6名
受け入れ目標(年間延べ)	600名
受け入れ実績	571名

④知的障がい児(者)日中一時支援事業

一日の受け入れ枠	10名
受け入れ目標(年間延べ)	10名
受け入れ実績	0名

(2)在籍実績

施設入所支援においては、21,740 名の目標に対して実数は 21,156 名で未達成、生活介護においては、目標 15,552 名のところ実数 17,241 名の利用で達成出来た。短期入所事業においては、600 名の目標に対し実数 571 名の利用、日中一時支援は利用希望の要望が 1 件もなく、10 名の目標に対し実数 0 名で未達成であった。

[施設入所支援]

① 利用者人数調べ

区 分	人 員		
	男	女	計
2022 年度から本年度への繰越人員	34	27	61
本年度中の入所者数	0	0	0
本年度の利用者総数	34	27	61
本年度中の退所者数	0	1	1
差引本年度から 2024 年度度への繰越人員数	34	26	60
創立(S51. 6. 1.)以来の利用者総数	121	103	224

②利用者月別人数調べ

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
契 約 者 数	61	61	61	60	60	60	60	60	60	60	60	60	723
月 平 均	59.0	58.9	58.8	58.8	56.0	57.6	57.3	57.7	57.9	56.0	57.9	57.9	58.0
入 所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退 所	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0

③本年度入所者数調べ

男	女	計
0 人	0 人	0 人

④本年度退所者調べ

理 由	男	女	計
家庭引取	0	0	0
地域生活への切替(グループホーム)	0	0	0
他施設へ異動(医療機関へ)	0	0	0
死 亡	0	1	1
その他	0	0	0
計	0	1	1

⑤在籍利用者 区分別調べ(月初日現在)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
障害支援区分6	39	39	39	38	38	39	39	39	39	39	39	39	466
障害支援区分5	18	19	19	19	19	18	18	18	18	18	18	18	220
障害支援区分4	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	25
障害支援区分3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
障害支援区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害支援区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	61	61	61	60	60	60	60	60	60	60	60	60	723

[生活介護]

①利用者人数調べ

区 分	人 員		
	男	女	計
2022 年度からの繰越人員	39	28	67
本年度中の入所者数	0	0	0
本年度の利用者総数	39	28	67
本年度中の退所者数	0	1	1
差引本年度から 2024 年度への繰越人員	39	27	66
S51. 6. 1 以来の利用者総数	124	104	228

平成 23 年度から通所部は生活介護事業所グリーンホーム厚別に統合。

②利用者月別人数調べ

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
契約者数	67	67	67	66	66	66	66	66	66	66	66	66	795
月平均	47.0	47.3	47.3	47.4	46.5	46.8	47.2	46.7	51.1	53.6	46.6	47.5	47.9
入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退所	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0

③本年度入所者調べ

理 由 区 分	男	女	計
他の施設より	0	0	0
在宅者	0	0	0
高等養護学校卒業者	0	0	0
計	0	0	0

④本年度退所者調べ

理 由 区 分	男	女	計
家庭引取	0	0	0
地域生活への切替(グループホーム)	0	0	0
他施設への異動	0	0	0
死亡	0	1	1
その他	0	0	0
計	0	1	1

⑤在籍利用者 区分別調べ(月初日現在)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
障害支援区分6	39	39	39	38	38	39	39	39	39	39	39	39	466
障害支援区分5	19	20	20	20	20	19	19	19	19	19	19	19	232
障害支援区分4	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	73
障害支援区分3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
障害支援区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害支援区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	67	67	67	66	66	66	66	66	66	66	66	66	795

(3)利用者の日課

6:30～	起床、着衣、洗面等
7:00～	掃除
7:30～	朝食
8:00～	歯磨き
9:00～	自由時間
10:00～	日中活動(作業)
12:00～	昼食・歯磨き
13:00～	日中活動(作業)
15:30～	入浴・自由時間
17:30～	夕食
18:00～	歯磨き・洗面
19:00～	自由時間・夜間入浴(希望者)
22:00～	消灯

(4)部門目標(反省)

<生活共通目標>

- ① 利用者様の意思を汲み取り、より充実した生活が送れるように支援します。
- ② 利用者様の健康と安全を守り、穏やかな日々が過ごせるように支援します。

<すずらん>

- ① ア:利用者様との関りからご本人の思いを引き出します。
利用者様とのコミュニケーションや保護者様との交流から、新たな趣味や好きなこと、以前からの情報などを知ることが出来た。
イ:利用者様個々の特性に応じて必要な情報提供をします。
写真やインターネットの情報から情報提供を行なった。外出先を選択してもらうことが出来た。新しい外出先を開拓することが出来た。
- ② ア:季節に応じた適切な衣類の提供を徹底します。
計画的に予定を組むことで季節の衣類を提供することが出来た。また、利用者様と一緒に買い物へ行くことで、ご本人の希望に沿った品を提供することが出来た。
イ:利用者様の身体状況を観察し体調管理を徹底します。
定時のバイタルチェックや入浴時の全身確認を徹底し変化を早期に発見することに努めた。

<はまなす>

- ① ア:ご本人が安心して自由に意思を伝えられるように取り組みます。
利用者様の話を傾聴し、それぞれの思いを職員間で共有した。

イ：個々に合わせた意思確認を行い、場合によっては関係専門機関とも連携します。

外出時の要望などを聞き取り、希望に沿った企画を実施することが出来た。意思が汲み取りにくい利用者様に関しても選択が出来るような工夫をした。

② ア：レクリエーションを通して楽しみながら健康維持に努めます。

身体を使ったレクリエーションを実施したが、全体的に回数が少なかった。今後は定期的に実施できるように進めていきたい。

イ：内服薬や外用薬の更新情報は分かりやすく管理します。

服薬ファイルの見直し、整理を行うことが出来た。また、随時、内服薬や既往歴の更新を行った。

<日中活動>（椎茸班、下請班、園芸班、療育班）

① 身体的な活動を重点的に行い、健康の増進を図れるように努めます。

作業的活動とは別に歩行活動や体操、ダンスなど身体を動かす活動を取り入れ、健康の増進を図るような取り組みを行った。

② 心理的な安定に繋がるよう、一人ひとりの要望に即した楽しい活動を提供します。

利用者様の要望から創作活動を年間通じて提供し、外部のアート展や報恩あーと展に出展することが出来た。

(5)行事報告

実施日	行事	実施場所	参加者数
8月16日	花火大会	グリーンホーム駐車場	35名
9月7日	日帰り旅行①	円山動物園	14名
10月4日	日帰り旅行②	登別マリンパーク	15名
10月12日	日帰り旅行③	新千歳空港	10名
10月25日	日帰り旅行④	新札幌・サンピアザ水族館	7名
11月9日	日帰り旅行⑤	真駒内駒岡保養センター	15名
11月25日	勤労感謝の会	グリーンホーム食堂	66名
12月25日	クリスマス会	グリーンホーム食堂	66名
12月28日	もちつき大会	グリーンホーム食堂	60名
1月12日	年賀状抽選会	グリーンホーム食堂	66名
2月2日	豆まき	各寮デイルーム	60名
3月29日	お別れ会	グリーンホーム食堂	66名

3. 職員の勤務状況

(1) 職員数、在籍者数

施設長	サービス管理責任者	生活支援員	事務員	看護師	栄養士	その他の職員	合計	給食業務委託	
								及び契約パート職員	栄養士他
1	2	(4) 30	(1) 1	1	1	(2)	(9) 36	(4) 3	1

※()は臨時職員、委託職員、パート職員、兼務職員 2024年3月31日現在

(2) 職員の異動

新 任			退 任		
発令年月日	職 名	人 数	発令年月日	職 名	人 数
2023.4.1	生活支援員	2 名	2023.6.30	パート職員	1 名
2023.9.19	事務員	1 名	2024.3.31	施設長	1 名
報恩学園からの異動			2024.3.31	生活支援員	1 名
2023.4.1	支援課長	1 名	札幌報恩学園へ異動		
2023.4.1	支援係長	1 名	2023.9.31	生活支援員	1 名
2023.4.1	生活支援員	3 名	2024.3.31	相談員	1 名
ワークショップ上野幌からの異動			2024.3.31	生活支援員	2 名
2023.4.1	生活支援員	2 名	くるみ寮へ異動		
ホープスからの異動			2024.3.31	看護師	1 名
2023.4.1	主任	1 名	2024.3.31	主任	1 名
そよ風からの異動			2024.3.31	生活支援員	1 名
2023.4.1	生活支援員	2 名	ワークショップ上野幌へ異動		
2023.6.11	生活支援員	1 名	2023.6.30	事務員	1 名
2023.9.1	生活支援員	2 名	そよ風へ異動		
			2023.8.31	生活支援員	1 名

(3) 職員の研修

期 日	研 修 名	開催地	出席者
5/16～18	強度行動障がい支援者養成研修(基礎研修)	オンライン	2 名
5/23～25	強度行動障がい支援者養成研修(基礎研修)	オンライン	1 名
6/13～15	強度行動障がい支援者養成研修(基礎研修)	札幌市	1 名
6/29～30	全道施設長セミナー	札幌市	1 名

7/8～10	応急手当普及推進員養成講習	札幌市	
7/12	令和5年度 発達障がい講座スタート	オンライン	2 名
7/20	ライフステージを通じた自閉症支援を考える	札幌市	3 名
7/21	令和5年度知的障がい関係支援員研修	札幌市	4 名
7/20	決算分析事業所別の傾向と改善手法	札幌市	1 名
8/7～21	令和 5 年度 全国知的障害関係施設長等会議	オンデマンド	1 名
8/14～9/29	看護師専門研修	オンデマンド	1 名
8/23	令和 5 年度 権利擁護セミナー	札幌市	2 名
9/26、10/4	個別支援計画事業者研修会	オンライン	1 名
9/28	令和 5 年度 災害対策研修会	札幌市	2 名
10/2	令和 5 年度 厚別地区部会事業所交流会	札幌市	1 名
10/6	栄養士専門研修	オンデマンド	1 名
10/13	全道知的障害関係職員研究大会	札幌市	2 名
10/14	自閉症スペクトラム症への適切な理解	オンライン	2 名
11/6	利用者研修実施のための職員研修会	札幌市	3 名
12/5	社会福祉法人社会福祉施設ブロック研修会	札幌市	1 名
12/7	札幌の行動障がい支援の現状と今後の展望	札幌市	2 名
1/18～19	第 11 回障害者支援施設部会全国大会	沖縄	1 名
2/3	札幌市行動援護人材育成モデル事業全体研修	札幌市	1 名
2/6	令和 5 年度社会福祉法人経営実務セミナー	札幌市	1 名
2/17～18	令和 5 年度 障害者のためのレクリエーション支援者養成研修	オンライン	1 名
2/9～23	北海道サービス管理者向け研修	e ラーニング	1 名
2/19	令和 5 年度 障害福祉事業経営セミナー	オンライン	2 名
2/19～20	令和 5 年度全道施設長研修会	札幌市	1 名
2/27	札幌市知的福祉協会障害者権利擁護・虐待防止研修(伝達研修)	札幌市	1 名
3/8～28	北海道サービス管理者向け研修	e ラーニング	1 名

(4)勤務時間

勤務時間帯は現状で問題はなかった。夜間に関しては必要に応じて 4 名体制を取っていた。通所の送迎に関しても臨機応変に対応する事が出来た。今後も利用者様の状態に応じて必要な対応を行っていききたい。11 月よりグリーンホームのみ全体で 4 週 8 休のシミュレーションを実施した。大きな問題はなかった。

(5)諸会議

定例の会議については、予定通り実施する事が出来た。

【そよ風 概要】

— 生活介護 —

1. 支援目標の反省

○「今日も一日楽しかった」と思ってもらえるような支援をモットーに、意思決定支援を意識した対応や、ご本人の得意なところや興味、関心に着眼した支援に努めた。また、日常生活上の支援ならびに、創作活動やレクリエーションなどの日中活動、余暇及び季節の行事に工夫を凝らしながら、利用者のみなさまが楽しみながら毎日を送れるよう支援した。

2. 利用者支援

(1)受け入れ目標

利用定員 20 名(利用契約数 26 名)
 受け入れ目標(年間延べ) 5,500 名を目標とする。
 (日曜日と冬休みの5日間以外は開所する。)
 受け入れ実績 5,555 名

(2)在籍実績

利用人員目標を 5,500 名としており、実数が 5,555 名となり達成できた。

①利用者人数調べ

区 分	人 員		
	男	女	計
2022 年度から本年度への繰越人員	16	10	26
本年度中の入所者数	1	0	1
本年度の利用者総数	17	10	27
本年度中の退所者数	1	0	1
差引本年度から 2024 年度への繰越人員数	16	9	25
創立(H18.10.1)以来の利用者総数	54	42	96

②利用者月別人員調べ

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
契約者数	26	26	26	26	26	25	25	25	25	25	25	26	305
延べ人数	476	504	496	510	453	449	473	460	444	407	427	556	5,555
開所日数	25	27	26	26	27	26	26	26	25	24	24	27	309
月平均	19.0	18.7	19.1	19.6	16.8	17.3	18.2	17.7	17.1	17.0	17.1	17.5	17.9
入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退所	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1

③本年度入所者数

理 由 区 分	男	女	計
他の通所施設より	0	0	0
在宅者	0	0	0
高等養護学校卒業者	0	0	0
計	0	0	0

④本年度退所者数

理 由 区 分	男	女	計
他施設へ	0	1	1
就労	0	0	0
家庭	0	0	0
死亡	0	0	0
計	0	1	1

⑤在籍者、程度別調べ

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
区分 6	14	13	13	14	14	13	13	13	13	13	13	12	158
区分 5	9	10	11	10	10	11	11	11	11	11	11	12	128
区分 4	3	3	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	19
区分 3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	26	26	26	26	26	25	25	25	25	25	25	25	305

(3)日課表

9:30～	登園、視診、ミーティング
10:00～	設定活動、個別活動
11:45～	昼食、歯磨き、休憩
13:00～	個別活動
14:00～	全体活動
15:00～	おやつ(水分補給)
15:30～	帰宅準備
16:00～	帰宅

(4)事業所目標の反省

- ① 利用者様が達成感や充実感を得られるように活動内容を整理します。
 - ・日中活動センター内の環境改善と新しい課題の作成、日課の見直し、活動マニュアルの作成に取り組み、6 名の利用者様が新規活動に参加できた。今後は利用者様の特性や興味、好みに合わせた課題づくりと活動提供を行っていく。
- ② 各クラブや行事の際に利用者様の意見や要望を取り入れ、利用者主体の活動を提供します。
 - ・利用者様に実物や写真で情報を伝え、クラブや行事の際に選択できる場面を作った。今後も利用者様の意見や要望を聞き、活動や行事を企画する。また、上手に意思を伝えられない利用者様にもわかりやすく情報提供を行う。
- ③ 転倒や事故防止等のリスク管理を徹底します。
 - ・ヒヤリハット報告書を職員会議で共有した。重要な事案に再発防止策として、全員周知と支援の見直しをした。今後もヒヤリハットや利用者ケースを共有し支援の見直しを行なう。

(5)行事報告

実施日	行 事	実施場所	参加者数
7 月 28 日	夏祭り	そよ風ホール	24 名
9 月 23 日	報恩まつり	そよ風ホール	17 名
11 月 23 日	感謝の集い	そよ風ホール	15 名
12 月 20 日	クリスマス会	そよ風ホール	22 名
12 月 29 日	餅つき	そよ風ホール	19 名
1 月 10 日	新年会	そよ風ホール	20 名
2 月 2 日	節分	そよ風ホール	17 名
3 月 1 日	ひなまつり	そよ風ホール	20 名
3 月 27 日	慰労会	そよ風ホール	20 名

3. 職員の勤務状況

(1)職員数、在籍者数

管 理 者	サ ー ビ ス 管 理 責 任 者	生 活 支 援 員	事 務 員	看 護 師	協 力 医	そ の 他	合 計
(1)	(1)	(3) 9	(1)	(1)	(3)	(1)	(11) 9

(2)職員の異動数

新 任			退 任		
発令年月日	職 名	人 数	発令年月日	職 名	人 数
2023.12.1	パート職員	1 名	2024.3.31	生活支援員	2 名
札幌報恩学園からの異動			グリーンホーム厚別へ異動		
2023.4.1	生活支援員	3 名	2023.6.10	生活支援員	1 名
グリーンホーム厚別からの異動			2023.8.31	主任	1 名
2023.4.1	生活支援員	1 名	2023.8.31	生活支援員	1 名
2023.9.1	生活支援員	1 名			

(3)研修調べ

期 日	研 修 名	開催地	出 席 者
・7/12	令和5年度発達障がい講座スタート	オンライン	1 名
・7/20	ライフステージを通じた自閉症を考える	札幌市	1 名
・7/26, 8/2	個別支援計画事業者研修会	オンライン	1 名
・8/2	令和5年度権利擁護セミナー	札幌市	1 名
・10/13	全道知的障害研究大会	札幌市	1 名
・10/14	自閉症スペクトラム症への適切な理解	オンライン	1 名
・11/6	利用者研修実施のための職員研修会	札幌市	1 名
・2/3	札幌市行動援護人材育成モデル事業全体研修	札幌市	1 名
・2/27	札幌市知的福祉協会障害者権利擁護・虐待防止研修(伝達研修)	札幌市	1 名

(4)勤務時間

勤務時間は現状で問題はなかった。送迎に関しても、状況に合わせて柔軟に対応出来た。

(5)諸会議

定例の会議については予定通り実施出来た。

【ワークショップ上野幌 概要】

— 生活介護・就労継続支援A・就労継続支援B～多機能型 —

1.支援目標(反省)

○生活介護は、利用者の意思を尊重し、創作的活動又は生産活動の機会を提供し様々な活動・作業を行いました。

○就労継続支援は、利用者の個々の能力・状態に応じた作業支援を行い、働く喜びや経験を積み重ね、一般就労が意識できるよう社会自立の促進をサポートしました。

2.利用者支援

(1)受け入れ目標 13,430 名(達成率:104.4%)

生活介護定員 20 名(契約数 25 名) ⇒年間延べ利用者数:6,157 名
 就労継続支援B型定員 20 名(契約数 27 名)⇒年間延べ利用者数:5,771 名
 就労継続支援A型定員 10 名(契約数 10 名)⇒年間延べ利用者数:2,094 名
 合計 14,022 名

(2)在籍実績

①利用者人数調べ

区 分	人 員
2022 年度から本年度への繰越人員	58 名
本年度中の入所者数	4 名
本年度の利用者総数	62 名
本年度中の退所者数	2 名
平成 13 年 4 月 1 日開所以来の利用者数	102 名

②利用者月別人数調べ

■生活介護事業所

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実員数	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	300
延べ人数	502	523	514	525	533	508	525	501	519	499	484	524	6,157
開所日数	25	27	26	26	27	26	26	26	26	24	25	26	310
月平均	20.1	19.4	19.8	20.2	19.7	19.5	20.0	19.3	20.2	20.8	19.4	20.2	19.9
入所	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
退所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

■就労継続支援 B 型事業所

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実員数	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	25	25	310
延べ人数	464	490	478	482	487	484	498	492	516	482	420	478	5,771
開所日数	25	27	26	26	27	26	26	26	26	24	25	26	310
月平均	18.6	18.1	18.4	18.5	18.0	18.6	19.2	18.9	19.8	20.1	16.8	18.4	18.6
入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
退所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2

■就労継続支援 A 型事業所

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実員数	8	8	8	8	8	8	8	8	8	9	10	10	101
延べ人数	167	173	163	180	179	175	175	171	174	175	162	200	2,094
開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
月平均	5.6	5.6	5.4	5.8	5.8	5.8	5.6	5.7	5.6	5.6	5.6	6.5	5.7
入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2
退所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

③本年度退所者調べ

	男 性	女 性	合 計
他事業所へ	1	0	1
家 庭	0	1	1
就 職	0	0	0
計	1	1	2

④本年度入所者調べ

理 由	男 性	女 性	計
他事業所から	3	0	3
家庭から	0	0	0
その他	0	1	1
計	3	1	4

⑤在籍利用者数、区分別調べ(月初日現在)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
障害支援区分6	6	6	6	5	5	5	5	5	5	7	7	7	69
障害支援区分5	18	18	18	19	19	19	19	19	19	18	18	18	222
障害支援区分4	17	17	17	17	17	17	17	17	17	16	16	16	201
障害支援区分3	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	14	157
障害支援区分2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	10
障害支援区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
未実施	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5	5	50
計	59	59	59	59	59	59	59	59	59	59	59	60	709

(3)利用者日課表

生活介護・就労継続支援B型

就労継続支援A型

9:00	出勤	8:00	出勤	時間内 4 時間から 5 時間の 就労 (シフト制)
9:30	朝会			
9:35	生産・日中活動開始			
10:50	休憩			
11:00	活動再開			
12:00	昼食・休憩			
13:00	活動再開			
14:45	コーヒータイム			
15:00	活動再開			
16:00	活動終了			
16:30	退勤	18:00	退勤	

(4)部門目標(反省)

■生活介護事業所

・生活介護のプログラムを見直し、創作活動、余暇活動における利用者様の満足度向上を目指します。

⇒今年度も年間計画に沿って、創作活動、個別活動、戸外活動、お菓子作りを実施した。個別支援計画に基づいた支援を意識することで個々のニーズに沿った活動を提供することができた。

■就労継続支援(B 型)

・B型工賃の見直しを行い、利用者様の能力に合わせた工賃を支給します。

⇒半年おきに工賃の見直しを行った。作業については箱折り、モップ作業を中心に利用者全員が作業に関われるよう作業工程を細分化した。

■就労継続支援(A型)

・A型事業利用者様の新規採用と業務内容を見直します。

⇒2名を新規採用し契約に即した人員を配置できた。また、利用者状況に応じて契約時間の検討を行った。

(5)行事報告

月	日	曜日	行事等	施設内・外	利用者参加数
4	24	月	お花見会(数回に分けて実施)	いずみ公園	46名
10	5	木	日帰り旅行(4回に分けて実施)	おたる水族館他	51名
12	22	金	クリスマス会	ワーク食堂	51名
1	12	金	新年会	1階作業室	44名
2	2	金	節分	1階作業室	46名
3	29	金	慰労会	ワーク食堂	44名

3.職員の勤務状況

(1)職員数

管理者	サービス管理責任者	職業指導員	目標工賃達成指導員	賃金向上達成指導員	生活支援員	事務員	栄養士	給食職員	看護師	協力医	合計
1	(1)	2	1	1	(8) 9	1	2	(4)	(1)	(1)	(15) 17

※()は臨時職員・嘱託職員・パート職員・兼務職員

(2)職員の異動

新 任			退 任		
発令年月日	職 名	人 数	発令年月日	職 名	人 数
2023. 4. 1	目標工賃達成指導員	1名	2023.5.31	調理パート	1名
入職			退職		

2023.4.1	副管理者	1 名	2023.6.30	事務員	1 名
幌西ほうおんからの異動			退職		
2023.4.1	主任	1 名	2023.9.30	生活支援員	1 名
グリーンホーム厚別から異動			退職		
2023.4.1	生活支援員	1 名	2024.3.31	主任	1 名
のぞみ寮から異動			報恩学園へ異動		
2023.4.1	生活支援員	1 名	2024.3.31	生活支援員	1 名
報恩学園からの異動			報恩学園へ異動		
2023.5.29	調理パート	1 名	2024.3.31	パート	1 名
入職			報恩学園へ異動		
2023.7.1	事務員	1 名	2024.3.31	職業指導員	1 名
グリーンホーム厚別からの異動			グリーンホーム厚別へ異動		
			2024.3.31	パート	1 名
			退職		

(3)職員の研修

日 程	研修名	開催地	出席者
2023.6.1	人事労務実務研修	札幌市	1名
2023.6.21-23	知的障害支援者専門研修会	WEB	1名
2023.6.29-30	全道施設長セミナー	札幌市	2名
2023.7.14-15	全国知的障害関係施設長等会議	東京	1名
2023.7.18-19	障害者職業生活相談員資格認定講習(1回目)	WEB	1名
2023.7.21	北海道知的障がい関係支援員研修	札幌市	1名
2023.8.23	障害者職業生活相談員資格認定講習(2回目)	札幌市	1名
2023.8.25	権利擁護特別研修	札幌市	2名
2023.9.5	社会福祉法人経営セミナー	札幌市	2名
2023.9.11	栄養士専門研修	WEB	2名
2023.9.16-18	福祉施設長専門講座(前期)	神奈川	1名
2023.9.28	災害対策研修会	札幌市	1名
2023.10.2-3	就労支援基礎セミナー	札幌市	1名
2023.10.13	全道知的障がい関係職員研究大会	札幌市	1名

2023.11.6	利用者研修会実施のための職員研修会	札幌市	1名
2023.11.16-18	全国知的障害福祉関係職員研究大会	WEB	1名
2023.12.5	ブロック研修会	札幌市	1名
2023.12.12	幹部職員研修会	札幌市	1名
2023.12.7-8	日中活動支援部会全国大会	大阪	1名
2023.12.19	社会福祉法人会計実務者決算財務分析講座	札幌市	1名
2024.2.3-4	福祉施設長専門講座(前期)	神奈川	1名
2024.2.6	社会福祉法人経営実務セミナー	札幌市	1名
2024.2.8	法人役員・施設長専門研修	WEB	1名
2024.2.19-20	全道施設長研修会	札幌市	2名
2024.2.24	4法人研修	千歳市	1名
2024.2.27	障がい者権利擁護・虐待防止研修	札幌市	1名
2024.3.4	障害者雇用納付制度事務説明会	札幌市	1名

(4)勤務時間

- ・勤務時間については、現勤務時間で特に問題はなかった。
- ・11月より4週8休のシミュレーションを実施した。特に大きな課題はなかった。

(5)諸会議

- ・定例会議は予定通り実施することができた。事業所ごとの会議を行い、活動・作業内容の振り返りと利用者支援についての情報共有を行った。

【のぞみ寮 概要】

— 宿泊型自立訓練・短期入所—

1. 支援目標(反省)

- 一般就労や障害福祉サービスの利用者さまを対象に社会生活に必要な自立訓練を行ない、生活スキル及び社会適応能力の向上を目指し、円滑な地域移行の促進を図るべく、以下の事業を実施いたしました。

2. 利用者支援

(1)受け入れ目標

- ・年間利用者延べ人数 ～ 6,000 名 実績:4,187 名
- ・年間利用者延べ人数(短期入所) ～ 100 名 実績: 286 名

(2)在籍実績

①利用者人数調べ

区 分	人 員		
	男	女	合計
2022 年度からの繰り越し人数	6 名	5 名	11 名
本年度中の入所者数	2 名	1 名	3 名
本年度中の利用者総数	8 名	6 名	14 名
本年度中の退所者数	5 名	5 名	10 名
差引本年度から 2024 年度への繰越人員	7 名	2 名	9 名
創立以来(通勤センターから)の利用者数	131 名	103 名	234 名

②利用者月別人数調べ

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
契約者数	16	15	15	14	13	13	13	13	10	10	9	12	153
入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
退所	1	0	1	1	0	0	0	3	0	1	0	3	10

③在籍利用者 区分別調べ(月初日現在)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
障害支援区分 6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害支援区分 5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
障害支援区分 4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
障害支援区分 3	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	8
障害支援区分 2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
障害支援区分 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
未判定	13	11	11	10	10	10	10	10	8	8	7	8	116
計	16	14	14	13	13	13	13	13	10	10	9	12	150

④本年度短期入所者調べ

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
男	0 名(0 日)	1 名(16 日)	1 名(30 日)	1 名(31 日)	1 名(1 日)	0 名(0 日)
女	0 名(0 日)	1 名(9 日)	1 名(30 日)	1 名(31 日)	1 名(31 日)	1 名(30 日)
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計

2名(6日)	0名(0日)	0名(0日)	0名(0日)	1名(15日)	1名(31日)	4名 (286日)
0名(0日)	1名(1日)	0名(0日)	0名(0日)	0名(0日)	0名(0日)	

⑤本年度退所者調べ

事 由	男	女
GHへ	5名	2名
家庭	0名	1名
単身生活	2名	0名
他施設へ	0名	0名
合計	7名	3名

(3) 日課表(仕事の関係上この限りではなく一応の目安)及び行事

<日課>

6:30	起床(各自)
7:00	朝食・出勤(各自)
12:00	昼食(休日)
19:00	夕食
	入浴・自由時間
22:00	消灯

<行事>

- ・ 6月 3日 歓迎会(焼肉バイキング)
- ・ 8月19日 納涼祭
- ・ 9月22日 報恩まつり
- ・ 12月31日 年末年始 オードブル
- ・ 1月 1日 年末年始 焼肉
- ・ 1月 2日 年末年始 刺身盛り合わせ
- ・ 1月21日 新年会 食事会(ビュッフェ)

(4) 事業所目標(反省)

- ・ 宿泊型自立訓練事業について、これまでの実績及び振り返りを行いながら事業の本質の確認を行い、安定した運営に向かうよう検証する。

⇒依頼件数の減少を感じる。2023年度の入寮希望者6名についてニーズや背景の確認を行い、のぞみ寮に期待されている役割と今後の展望について検証を行った。期待される役割に対して必要な専門性や独自性を拡充して、安定的に運営していけるのか、明確な回答は出せていない為次年度も検証が必要と感じた。

- ・利用者の希望に即した地域移行を年度内に6～7名の実現を目指す。
⇒5名の方の地域移行を実施することが出来た。利用者の希望に合わせて単身生活への移行、グループホームへの移行と適切に対応することが出来た。
- ・次年度の利用者獲得のため、各学校等との情報交換や実習受け入れを行う。
⇒実習の事前見学等の際に特別支援学校の先生や児童養護施設職員、相談員等と情報交換を行い、実習の受け入れや利用につなげることが出来た。
- ・北海道地域生活定着支援センターと連携し、受け入れ検討を進める。
⇒今年度女性1名の利用受け入れを行うことが出来た。
- ・利用者による自主的企画を基本に、活動や勉強会、行事等を行う。
⇒職員と一緒に企画・準備したバーベキューを行った後、利用者数名でバーベキューを行うことが出来ていた。一緒に行う事で、企画や準備を学ぶことが出来ていた。勉強会は毎月行う事が出来、地域生活に必要な知識や技術を学ぶ良い機会になっていた。
- ・利用者個々のカンファレンスが即時実施出来るような体制作りを行う。
⇒関係機関とのカンファレンスは適切なタイミングで行う事が出来た。
- ・くるみ寮との連携の強化をはじめ、関係専門機関との連携を図る。
⇒くるみ寮より利用者1名を受け入れることが出来た。また、逆に体調の異変からくるみ寮を一時的に退所し、のぞみ寮の短期入所を利用して静養する等、協力して支援を行うことが出来た。相談室や学校とも密に連絡を取り合い利用につなげることが出来た。
- ・外部研修や施設内研修を実施する事で職員の資質向上を図る。
⇒施設内研修については支援員の都合がつかず、毎月の実施は達成出来なかったが、支援員それぞれが必要と感じた知識について闊達に意見を出しあえる勉強会を開催することが出来た。
- ・利用者の生活訓練の充実を目指し、更なる支援体制を整備する。
⇒自立訓練カリキュラムのメニュー内容から都度必要と感じるテーマを勉強会で取り上げる等、実施方法を工夫することが出来た。今後カリキュラム内容の精査を行い、より利用者ニーズに即したものにしていけると良いのではないかな。
- ・日々の健康管理と疾病・感染症等の予防体制を継続する。
⇒寮内でコロナウイルスの感染があった。予防体制は継続していたが、支援員にも感染が広がる等、予防体制の必要性を改めて感じた。5類になったことで、マスクをしていない時間帯も増えているが、体調不良者が出た際の対応は、今後も徹底する必要がある、マニュアルの確認や周知についても定期的に行うべきと感じた。

3. 職員の勤務状況

(1) 職員数

管 理 者	サ ー ビ ス 管 理 責 任 者	地 域 移 行 支 援 員	生 活 支 援 員	夜 間 支 援 員	看 護 師	事 務 員	協 力 医	合 計
(1)	1	(1) 1	(1) 1	(4)	(1)	(1)	(3)	(12) 3

※()は臨時職員・嘱託職員・パート職員・兼務職員

(2) 職員の異動

新任			退任		
発令	職名	人数	発令	職名	人数
ワークショップ上野幌より異動			報恩学園へ異動		
			2024. 3. 31	管理者	1名

(3) 職員の研修

日 付	研 修 名	場 所	人数
7/13	全国知的障がい関係施設長会議	オンライン	1名
8/23	権利擁護セミナー	札幌	1名
10/13	全道知的障がい関係職員研究大会	札幌	1名
3/ 2	司法分野における社会福祉士の関与の在り方を考える学習会	札幌	1名
2/14	厚別区地域部会研修	オンライン	1名

(4) 勤務時間

- 勤務時間に変更はなかったが、職員数が1人減ったことにより、職員の勤務が重なる時間が減少した。会議や予定の調整はこれまで以上に厳密に行うことで大きな問題なく対応することが出来た。

(5) 諸会議

- 地域移行会議、各種委員会(虐待防止・感染症予防・事故防止・労働衛生)の合同開催の継続、個別支援計画の策定及びモニタリング会議等の3カ月に1回の開催を継続することができた。
- 学校や地域生活定着支援センター、相談支援事業所等関係機関との会議を実施した。コロナが5類となり対面での会議が増えた。

【くるみ寮 概要】

— 共同生活援助～介護サービス包括型 —

1. 支援目標(反省)

- 利用者様が地域において日常生活を営むことが出来るよう、身体及び精神の状況並びに各々が置かれている環境に応じて支援を行なった。
- 各々のニーズに的確に応えられるよう支援活動を行なった。

2. 利用者支援

(1)受け入れ目標

・年間利用者延べ人数 ～ 26,500 名 実績:26,317 名

(2)在籍実績

①利用者人数調べ

区 分	人 員		
	男	女	合計
2022 年度から本年度への繰越員数	57 名	17 名	74 名
本年度中の入所者数	0 名	0 名	0 名
本年度中の利用者総数	57 名	17 名	74 名
本年度中の退所者数	0 名	0 名	0 名
差引本年度から 2024 年度への繰越人員	57 名	17 名	74 名
創立以来(平成 22 年一体型以来)の利用者数	79 名	33 名	112 名

②利用者月別人数調べ

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
契約者数	74	74	74	74	74	74	74	74	74	74	74	73	887
入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1

③在籍利用者 区分別調べ(月初日現在)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
障害支援区分 6	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	27
障害支援区分 5	14	14	14	15	15	16	16	16	17	17	17	17	188
障害支援区分 4	22	21	21	21	21	20	19	19	19	19	19	20	241
障害支援区分 3	22	23	23	23	23	23	26	26	27	27	27	24	294
障害支援区分 2	13	13	13	13	13	13	11	11	9	9	9	10	137
障害支援区分 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	74	74	74	74	74	74	74	74	74	74	74	73	887

※区分変更者あり

④退所者調べ

事 由	男	女
他施設へ	1 名	0 名
家庭	0 名	0 名
その他	0 名	0 名
合計	1 名	0 名

(3)日課、行事

<日課>

- ・利用者さんの暮らしのスタイルに合わせ、各々日課を組み立てている。

<行事>

- ・昨年度までは控えていた全体行事を行う事が出来た。花火大会やクリスマス会、同窓会は全体で集まり、皆さん久しぶりに顔を合わせ嬉しそうな様子がみられた。
- また、コロナ禍で増えた少数での行事も全体で行うものとは違う楽しみがあり、外出や食事会等ホーム毎で楽しむことが出来た。
- ・7月22、23日 花火大会
- ・12月17日 クリスマス会

(4)ブロック目標(反省)

- ・余暇の充実を図り、生活の質の向上を目指す。
 - ⇒全体行事、特に同窓会は同窓生や旧職員も含めて大規模に対面で行う事が出来た。ホテルでの会食は以前から機会が少なく、利用者様にとって貴重な経験だったのではないかと感じる。コロナ明けを感じる1年だった。
- ・災害発生時に適切に対処できるように支援体制を整える。
 - ⇒災害発生時を想定して防災訓練を実施出来た。実際に避難することを想定し、車

- の置き場所や避難方法、避難のタイミング等について話し合うことが出来た。
- ・職員の支援力向上を目指し、研修会を実施、また外部研修への積極的参加を働きかける。
⇒世話人向けに虐待防止研修や感染症対策研修を企画・実施することが出来た。継続して行っていきたいと考えている。
 - ・成年後見制度の利用促進を図る。
⇒後見開始者が3名、後見制度の利用手続き開始者が4名となった。
 - ・日々の健康管理と疾病・感染症等の予防体制を継続する。
⇒コロナ感染者の発生は少なくなっているが、インフルエンザ等他の感染症も広がり、引き続き感染症の予防体制を継続してきた。病院の体制やワクチン接種の変化等、社会の状況にも変化が見られる為、看護師と連携し引き続き情報収集と分析に努めたい。
 - ・利用者支援を効率的・効果的に行うため、運営の仕方について検討し構築する。
⇒住居の住み替え、支援の専門性の高度化、世話人の不足、重度高齢化の問題など課題が多く、解決に至っていない為、今後も検討が必要と思われる。
 - ・空床を減らし、利用率向上を目指す。
⇒2023年度は2024年2月に1名が体調不良の静養の為に一時的にのぞみ寮の短期入所へ移動することがあったが、他には空床なく運営することが出来た。

3. 職員の勤務状況

(1)職員数、在籍者数

管理者	サービス管理責任者	生活支援員	事務員	看護師	世話人	合計
(1)	(1)	(4)	(1)	(1)	(52)	(60)
	2	6	1			9

※()は臨時職員・嘱託職員・パート職員・兼務職員

(2)職員の異動

新任			退任		
発令	職名	人数	発令	職名	人数
2023.4.1～2024.3.31	世話人他	6名	2023.4.1～2024.3.31	世話人他	6名
2023.4.1	生活支援員	1名	2024.3.31	看護師	1名
グリーンホーム厚別より異動			グリーンホーム厚別へ異動		

2024.3.1	生活支援員	1 名	2024.3.31	生活支援員	1 名
			退職		
			2024.3.31	主任	1 名
			ワークショップ上野幌へ異動		

(3) 研修調べ(外部研修)

日 付	研 修 名	場 所	人数
4/20	介護障がい報酬ダブル改訂経営セミナー	札幌	1名
6/22	刈払機取扱作業講習会	札幌	1 名
6/29-30	全道施設長セミナー	札幌	1 名
7/5	札幌市社会福祉大会	札幌	1 名
7/21	北海道知的障がい関係職員研究大会	札幌	1 名
7/27-28	強度行動障がい支援者養成研修(基礎)	オンライン	1 名
8/23	就業環境整備改善セミナー	オンライン	1 名
8/23	権利擁護セミナー	札幌	1 名
8/25	施設長・管理者 権利擁護特別研修	札幌	1 名
8/14-9/29	看護師専門研修	オンライン	1 名
9/5	社会福祉法人経営者セミナー	札幌	1 名
10/13	北海道知的障がい関係職員研究大会	札幌	1 名
11/17	障害者差別解消法道民フォーラム in 札幌	札幌	1 名
12/5	社会福祉法人社会福祉施設ブロック研修会	札幌	1 名
12/12	幹部職員研修	札幌	1 名
1/10-3/10	全国知的障害福祉関係職員研究大会	オンライン	1 名
1/16、25、31	札幌市障害福祉サービス事業所管理者向け研修(中級)	オンライン	1 名
2/19-20	全道施設長研修会	札幌	1 名
2/28	北海道社会福祉協議会経営青年会総会・研修会	札幌	1 名

(4) 勤務時間

- ・7:00 から 20:00 のシフト制で臨職の 3 名のみ中抜け勤務となっている。
世話人の不足から支援員は朝か夕のホーム支援に入る日が多くなっている。
- ・世話人は朝(7:00～9:00)と夕(16:00～20:00)の支援に入っている。朝のみ、夕のみの方と中抜き勤務している方がおり、組み合わせて各ホームの支援を行っている。世話人の調整がつかない日は支援員がホームに入っているが、前年度より更に頻度が多くなっている。次年度も更に増える見通しとなっている。
- ・20:00～翌8:30までは事務所にかかってくる電話を転送電話で対応している。転送電話は主に係長、課長が携帯している。

(5) 諸会議

- ・毎日9:30と11:30に打ち合わせを行い職員間の情報共有を行うことが出来た。
- ・年4回の各種委員会を実施した。
- ・個別支援計画の策定及びモニタリング会議を半年に1回実施することが出来た。
- ・毎月各ホーム会議を行い、日々の課題の解決に努めるとともに、世話人と支援員の共通認識をはかり支援の方向性を確認する事が出来た。
- ・くすみ寮支援会議を毎月定例開催した。

【ホープス 概要】

—就労継続支援(B型)・就労移行支援～多機能型—

1. 支援目標(反省)

- ・ホームページ更新などでの広報活動や支援学校、相談室との情報交換を行いました。支援学校の実習を通じて1名の新規利用者契約に至りました。
- ・就労移行支援事業においては問合せや見学など対応しましたが新たな利用者獲得には至りませんでした。
- ・利用者さん個々の状況把握に努め、健康面の配慮や能力に合わせて作業を提供する事で作業能力の維持や向上に繋がりました。

2. 利用者支援

(1)利用者の受入目標

① 就労移行支援定員 6 名(契約者数:1 名)

就労継続支援 B 型定員 14 名(契約数 15 名)

年間受入目標(年間延べ) 4,420 名(4,076 名)

年間受入実績 移行:247 名(利用率 92.0%) B 型:3,829 名(利用率 89.0%)

(2)利用者の在籍数、実績数

①利用者人数調べ

	男	女	計
2022 年度から本年度への繰越人員	14	1	15
本年度中の入所者数	1	0	1
本年度中の利用者数	15	1	16
本年度中の退所者数	1	0	1

差引本年度から2024年度への繰越人員	15	1	16
創立以来の利用者数	51	9	60

②利用者月別人数調べ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数	16	16	16	15	15	15	15	15	15	15	15	16	184
月平均	11.8	12.3	12.4	11.6	11.6	11.7	12.0	11.1	11.2	11.3	10.3	11.1	11.53
入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
退所	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

③本年度入所利用者調べ

入所者数	男	女	計
	1	0	1

④本年度退所利用者調べ

	男	女	計
一般企業への就職	0	0	0
他の福祉事業所の利用	1	0	1
入所施設	0	0	0
家庭	0	0	0
死亡	0	0	0
その他	0	0	0

⑤在籍利用者、区分別調べ(月初日現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
障害支援区分6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害支援区分5	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	28
障害支援区分4	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	42
障害支援区分3	5	5	5	5	5	5	6	6	5	5	5	5	62
障害支援区分2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
障害支援区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
非該当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
未実施	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	4	40
計	16	16	16	15	15	15	15	15	15	15	15	16	184

(3)利用者の日課表

- ・9:00 より通所の受け入れを行い、9:30～16:30 まで作業を行った。

(4)行事報告

実施日	行事	実施場所	参加者数
5 月 1 日	お花見会	平岡公園梅林	12 名
11 月 11 日	日帰り旅行	定山溪万世閣ホテルミリオネ	5 名
11 月 13 日	日帰り旅行	円山動物園・すたみな太郎新札幌店	6 名
12 月 20 日	忘年会	ホープス事業所内	8 名
1 月 8 日	新年会	ホープス事業所内、上野幌神社	10 名
2 月 1 日	節分	ホープス事業所内	9 名
3 月 18 日	日帰り旅行	カラオケバンバン白石店他	1 名
3 月 25 日	慰労会	ホープス事業所内	14 名

※社会見学、一泊旅行は感染症を考慮し中止になりました。

(5)事業所目標(反省)

①送迎システムを見直し、新規利用者の獲得を目指す

- ・他事業所と会議を実施したが、連携しての送迎は困難であったため、独自の送迎システム構築確立が必要であるという結論に至った。
- ・赤い羽根共同募金より助成金で車両を導入した。
- ・今年度は実習生を1名受け入れた。また、養護学校職員の見学も逐一受け入れ情報共有を行うことが出来た。3 か月に 1 度程度の頻度でホームページも更新し、広報活動を行った。

②空いている作業場の有効利用を検討する

- ・新規事業の内容を検討しても一部利用者しか参加できないため、取り組みを進めることができなかった。今後は他事業所・他法人への見学や情報収集を行い、多くの利用者が参加出来るような作業種を検討していきたい。

③ 他就労事業所と協力しながら請け負える新規作業の獲得を目指す

- ・スケジュール調整がうまくできず他就労事業所との定期的な話し合いはできなかったため、個々での情報収集を行った。今後は他事業所との連携や他法人への見学を取り入れながら情報収集を行い、作業内容の見直しや新規事業について検討していく。

④ 支援に必要な研修等の参加や事業所内研修を実施する

- ・個別ケース検討会議を実施し、支援の方向性を決め、事業所合評に繋げることが出来た。
- ・外部研修受講後に要点をまとめ回覧し、学んだことの情報共有をすることが出来た。。

3. 職員の勤務状況

(1) 職員の在籍数調べ ※()は臨時職員・嘱託職員・パート職員・兼務職員

管理者	サービス管理責任者	就労移行支援員	目標工賃達成指導員	職業指導員	生活支援員	事務員	看護師	協力医	合計
(1)	1	1	1	2	(2)	(1)	(1)	(1)	(6) 5

(2) 職員の異動

新任			退任		
発令	職名	人数	発令	職名	人数
2023. 4. 1～	主任	1 名	2024. 3. 31	所長・支援課長	1 名
札幌報恩学園より異動			幌西ほうおんへ異動		
2023. 4. 1～	職業指導員	1 名	2024. 3. 31	職業指導員	1 名
札幌報恩学園より異動			札幌報恩学園へ異動		

(3) 職員の研修

日 付	研 修 名	場 所	人数
4/21・5/31	刈払機取扱作業安全衛生教育	札幌	3 名
8/4	北海道障害者就業センター研修	札幌	1 名
8/28～30	就業支援基礎研修	札幌	2 名
10/14	北海道社会福祉フォーラム 2023	札幌	1 名
10/28～29	小型車両系建設機械運転特別教育	札幌	1 名
11/6	利用者研修会実施のための職員研修会	札幌	1 名
11/10	就業支援実践研修 精神障害コース	札幌	1 名
1/10～2/29	北海道障がい者虐待防止・権利擁護研修	オンデマンド	3 名

(4) 勤務時間

・職員の勤務時間は 9:00～17:30 で特に問題なかった。

(5) 諸会議

・支援会議は利用者が退勤後に行う事で、特に問題はなかった。法人全体にかかわる他の会議は、担当職員のみ出席することで作業には影響はありませんでした。

【サポート91 概要】

—居宅介護・重度訪問介護・行動援護・移動支援—

1. 支援目標(反省)

- ・利用される方が居宅やグループホームにおいて自立した豊かな生活が送れるよう通院や余暇の支援を行いました。外出先での排泄、入浴や買い物、ご自宅での食事等の介護、調理、洗濯及び掃除等の家事の支援を行いました。
- ・今年度も感染症の影響があり、感染状況や情勢を踏まえて支援を提供しました。人が特に集まる場所を避け一部の地域の支援を中止したり、ご自宅での支援や外での支援を工夫し臨機応変に行いました。

2. 利用者支援

(1)利用者の受入目標

- ・3月31日現在の契約者数は81名、うち居宅介護(ご自宅での見守り、入浴などの支援等)42名、行動援護(外出時の付き添い等)31名、同行援護(視覚に障がいのある方の支援)5名、移動支援(札幌市の制度、外出の付き添い等の支援)32名、私的契約(制度では賄えない部分の支援、通学時の支援、事業所とご自宅の送迎等)47名、重度訪問介護(ご自宅での重度重複障がいの方の支援等)0名となっています。(重複者含む)2023年度は解約者6名、新規契約者数1名でした。新規のお問い合わせは21件ありましたが、すべてにお応えすることは出来ませんでした。登録ヘルパーの増員により受入を少しでも増やしていくことが可能になると考えられます。

(2)利用者契約者数調べ～居宅介護・重度訪問介護・行動援護・同行援護

(単位:人、毎月初日)

区分													現数
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
居宅介護	46	46	46	45	45	44	44	42	42	42	42	42	42
重度訪問	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0
行動援護	29	30	30	30	30	30	30	30	30	30	31	31	31
同行援護	3	3	3	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
合 計	79	80	80	81	81	80	80	78	78	78	79	78	78

(3)利用者延べ人数調べ～居宅介護・重度訪問介護・行動援護・同行援護(単位:人)

区分													合 計
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
居宅介護	77	98	85	84	82	67	84	81	73	74	69	75	949
重度訪問介護	0	1	1	1	0	0	0	0	0	1	1	0	5
行動援護	47	47	54	44	52	58	42	44	60	55	54	61	618
同行援護	15	10	12	12	18	18	17	17	16	19	18	22	194
合 計	139	156	152	141	152	143	143	142	149	149	142	158	1766

(4)利用者契約者数調べ～移動支援

(単位:人)

区分													現 数
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
移動支援	39	38	38	37	37	36	36	35	35	35	34	32	32

(5)利用者延人数調べ～移動支援

(単位:人)

区分													合 計
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
移動支援	67	58	59	67	77	79	84	71	69	67	65	66	829

(6)契約者総数

(単位:人)

区分													合 計
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
居宅介護	0	0	0	-1	0	-1	0	-2	0	1	0	0	-3
重度訪問介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-1	-1
行動援護	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
同行援護	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
合計(契約/解除)	0	1	0	1	0	-1	0	-2	0	1	1	-1	4/-4
移動支援	0	-1	0	-1	0	-1	0	-1	0	0	-1	-2	-7

(7)事業所目標(反省)

①公用車の入替と購入を検討する

- ・抽選は外れたが今年度も計画的に寄付事業に応募できた。
- ・車両のニーズを検討した結果、利用者の高齢化に伴い交通機関の利用も困難になってきているケースがあった。今後は車椅子対応などの福祉車両も併せて検討していきたい。

②新たな支援の提供で稼働時間を増やし、登録ヘルパーを増員する

- ・稼働時間は月平均90時間を達成出来ているが、事務業務とのバランスを考慮していく必要があった。
- ・広報活動は、支援先等で事業所の情報を発信し登録ヘルパーの増員に繋げる事が出来た。また、新たに SNS を活用した広報活動も検討し、様々な意見を集約した。

③居宅介護事業の充実を図る

- ・定期的に情報共有の場を設け、市場調査を行った。法人内外から居宅介護のニーズを情報収集し、新規事業立ち上げに関する分析と事業計画の仮案作成を進めた。

④サービス制度の理解や研修の参加により職員の資質向上を図る

- ・職員全員が事業内容や制度について理解を深められるよう事業所内で研修等を行った。外部研修は対面、オンライン併せて様々な研修会に参加できた。

3、職員の勤務状況

(1)職員の在籍数

管理者	サービス提供責任者	サービス提供従事者		事務員	看護師	協力医	合計
(1)	2	(4)		(1)	(1)	(1)	(8) 2

※()は臨時職員・嘱託職員・パート職員・兼務職員

(2)職員の異動

新任			退任		
発令	職名	人数	発令	職名	人数
2023. 4. 1～	サービス提供従事者	1 名	2024. 3. 31	所長・支援課長	1 名
ワークショップ上野幌より異動(臨時職員)			幌西ほうおんへ異動		
2023. 6. 26～	登録ヘルパー	1 名			
新規採用(パート職員)					

(3)職員の研修

日 付	研 修 名	場 所	人 数
4/3・10	同行援護従事者養成研修一般課程	札幌	2名
4/14	福祉有償運送運転者認定講習・セダン等運転者講習	札幌	2名
5/17～18	強度行動障害支援者養成研修(実践編)	Zoom	1名
6/5・12	同行援護従事者養成研修応用課程	札幌	2名
6/6・7・13・14	北海道行動援護従業者養成研修	札幌	1名
7/11～26	障がい者虐待防止 札幌市条例研修	オンデマンド	6名
7/10・17	同行援護従事者養成研修一般課程	札幌	1名
10/14	北海道社会福祉フォーラム	Zoom	1名
11/6	利用者研修会実施のための職員研修会	札幌	1名
1/10～2/29	北海道障がい者虐待防止・権利擁護研修	オンデマンド	1名
1/18～19	障がい者虐待防止啓発講座	オンデマンド	3名
2/15	発達障害児者地域生活支援モデル事業研修会	オンデマンド	1名

※その他、登録ヘルパー向けの研修を事業所で1回行いました。

(4)勤務時間

・通常勤務は9:00～18:00となっていますが、支援内容によっては勤務時間の変更を随時行なった。

(5)諸会議

・支援の調整を行うことで月1回のケース・技術指導会議と個別支援計画検討会議を開催できた。

【ステーション106 概要】

— 相談支援 —

1. 支援目標(反省)

- ・常に利用者さまに提供されるサービス等が特定の種類又は特定の障害福祉サービス事業者に偏することのないように公正中立な支援活動を意識した。今後も丁寧なアセスメントを心がけ利用者様により良い情報を提供できるよう知識の習得や他相談事業所との連携を図っていく。
- ・外部研修はオンラインの他、参集形式での研修も再開し、多くの研修会に参加する事ができた。今後も厚別区内の委託事業所や指定事業所と情報を共有しながら対応していきたい。

2. 利用者支援

(1) 在籍実績

① 利用人数調べ

	男	女	計
2022 年度からの本年度への繰越契約者数	176	94	270
本年度中の新規契約者数	7	3	10
本年度中のサービス等利用計画作成件数	44	29	73
本年度中のモニタリング件数	219	171	390
本年度中の契約解消者数	1	2	3
創立以来の契約者数	207	110	317

② 新規契約者の障がい別調べ

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
身体													
重心													
知的	2			2	1	1			1				7
精神							1				2		3
発達													
高次脳													
難病													
その他													
計	2	0	0	2	1	1	1	0	1	0	2		10

③ 相談月別人数調べ

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
新規相談数	2	0	0	2	2	1	2	1	1	1	2	0	14
契約者数	2	0	0	2	1	1	1	0	1	0	2	0	10

(2) 事業所目標(反省)

① サービス等利用計画の受入件数の拡充を目指す。

- ・法人内や地域の相談者 10 名と新規契約し、サービス等利用計画を作成した。
- ・サービス等利用計画作成の契約者数が 2022 年度は 282 人、2023 年度は 270

人であった。計画作成件数、モニタリング件数については 2022 年度が 620 件であったが、2023 年度は 460 件であった。前年度と比較すると件数は減少したが、今後も件数の受け入れ拡充を目指し、計画内容の質を高めながら支援の向上を図りたい。

②スケジュール管理を徹底し計画作成やモニタリング実施を正確に行う。

・計画作成状況のスケジュールをデータ様式にして管理した事で、計画案やモニタリングを漏れなく提出する事ができた。

③サービス等利用計画作成のために支援の質の向上を図る

・子ども家庭庁の研修やゲーム依存等の研修に参加し、障害児支援に向けた知識を深める事ができた。今後も様々な研修会に参加し質の向上を図りたい。

④各種加算を取得し収入増を目指します

・サービス担当者会議実施加算とサービス提供時モニタリング加算の様式を一体化させた事により、効率よく加算を取得する事ができた。

・精神障害者支援体制加算については、対象の研修会に参加する事ができず、加算取得には至らなかった。

3. 職員の勤務状況

(1)職員数、在籍者数

管理者	相談員	事務員	看護師	協力医	合計
(1)	(3)	(1)	(1)	(1)	(7)
	1				1

※()は臨時職員・嘱託職員・パート職員・兼務職

(2)職員の異動

新任			退任		
発令	職名		発令	職名	
2023.4.1	管理者	1 名	2024.3.31	管理者	1 名
2023.4.1	所長	1 名	2024.3.31	相談員	1 名

(3)職員の研修

日程	研修名	場所	人数
6/1	北海道経済連合会人事労務実務研修	札幌市	1 名

6/29～30	全道施設長セミナー	札幌市	1名
7/13～14	全国知的障害関係施設長等研修	オンデマンド	1名
8/23	権利擁護セミナー	札幌市	1名
10/13	全道知的障がい関係職員研究大会	札幌市	1名
10/14	誰もが暮らしやすい社会へ～発達障がいについて考えてみよう～	オンライン	1名
11/22	札幌市児童発達支援研修会	札幌市	2名
11/27	札幌市ゲートキーパー研修会（基礎研修）	オンライン	2名
12/5	令和5年度社会福祉法人・社会福祉施設ブロック研修会	札幌市	1名
12/12	令和5年度幹部職員研修会	札幌市	1名
1/29	札幌市ゲートキーパー研修会（スキルアップ研修）	札幌市	2名
1/30	全体研修会「札幌市子どもを取り巻く支援」	札幌市	2名
2/3	令和5年度北海道ブロック再犯防止シンポジウム	札幌市	2名
2/17	インターネット・ゲーム依存～保護者からの相談にどう対応するか？～	札幌市	2名
2/19～20	全道施設長研修	札幌市	1名
3/8	自死遺族のこころの理解と支援について	オンライン	2名
3/18	障がい福祉と介護保険の連携とその具体的実践	札幌市	2名

(4)勤務時間

- ・一般就労をされている利用者の方に聞き取りをする際に18時以降の面談実施が必要となるが、勤務時間の調整を行い、問題なく実施する事ができた。

(5)諸会議

- ・ステーション106の会議を通して、職員間の情報共有を図った。
- ・開催日時はその都度調整し、問題なく行なえた。

【就業・生活相談室しんさつぽろ 概要】

— 就業・生活相談 —

1. 支援目標(反省)

・札幌市の委託事業である「就業・生活相談支援事業」を受託し11年目の年となった。相談員とジョブサポーターが連携を図りながら、相談者の「働きたい」という思いに応えるため、雇用、保険、福祉、教育等の地域の関係機関と連携をとり、身近なその地域において就業面及び生活面における一体的な相談・支援を行なった。就労面だけでなく、生活面も含めた課題もあり他機関との連携も視野に入れていく必要性を感じた。

2. 利用者支援

(1)在籍実績

①利用人数調べ

	男	女	計
2022 年度からの本年度への繰越登録者数	101	60	161
本年度中の新規登録者数	35	16	51
本年度中の登録相談者数	136	76	212
本年度中の登録抹消者数	13	17	30
創立以来の登録者数	363	217	580

②新規登録者の障がい別調べ

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
身体	1				1			1					3
重心													0
知的	1	1	1	3	1		2	3	1	4	3	3	23
精神	1	2	2	2	2	2		1		2	3	3	20
発達						1				1	1	1	4
高次脳													
難病									1				1
その他													
計	3	3	3	5	4	3	2	5	2	7	7	7	51

③相談月別人数調べ

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
新規相談数	18	12	12	12	8	11	15	13	15	8	17	17	158
登録者数	3	3	3	5	4	3	2	5	2	7	7	7	51

(2)事業所目標(反省)

①企業開拓、求人開拓を行うことで企業との連携を図り、就職者数増を目指す。

- ・企業アセスメントの実施には至らなかったが、厚別区の未達企業を訪問し、障害者雇用についての現状や課題を把握する事ができた。次年度はハローワークとの連携を強化し、未達企業の求人開拓や雇用に繋がられる様に取り組んでいく。

②支援の質を向上させる

- ・定期的にロールプレイを実施し、面談技術や電話対応の技術向上に取り組んだ。
- ・ジョブサポーター支援における事例検討を行い、実践の振り返りや意見交換を行う事ができた。
- ・勉強会とケース検討を月に1度開催し、支援に反映させる事ができた。

③相談者のニーズの把握に努める

- ・地域活動支援センターの必要性について検討会議を実施した。設置に関する計画や意向調査には至らなかったが、コロナ禍で実施できていなかった茶話会を再開する事ができた。
- ・定期的に福祉事業所と機関会議を設け、相談者の情報共有や意見交換を行う事ができた。

3. 職員の勤務状況

(1)職員数、在籍者数

管 理 者	相 談 員	ジ ョ ブ サ ポ ー タ	事 務 員	看 護 師	協 力 医	合 計
(1)	4	2	(1)	(1)	(1)	(4) 6

※()は臨時職員・嘱託職員・パート職員・兼務職員

(2)職員の異動

新任			退任		
発令	職名		発令	職名氏	
2023.4.1	管理者	1 名	2024.3.12	相談員	1 名
2023.4.1	所長	1 名	2024.3.31	管理者	1 名
			2024.3.31	ジョブサポーター	1 名
			2024.3.31	相談員	1 名

(3)職員の研修

日程	研修名	場所	人数
5/31	北海道障害者職業センター関係機関向け利用説明会	オンライン	1 名
6/9	札幌市自立支援協議会就労支援推進部会定例会	札幌市	3 名
7/3～16	高次機能障害支援者研修会	オンデマンド	2 名
8/23	権利擁護セミナー	札幌市	1 名
8/23	発達障害の特性を持つ学生の就労に向けての支援に関する実践報告会	札幌市	1 名
8/28～30	就労支援員対応型就業支援基礎研修	札幌市	2 名
10/2	障がい者雇用セミナー	オンライン	4 名
10/12	厚別区地域部会「第 10 回事業所交流会」	札幌市	2 名
10/14	誰もが暮らしやすい社会へ～発達障がいについて考えてみよう～	オンライン	2 名
11/15	障がい者雇用を通して企業づくりを考えるフォーラム	札幌市	2 名
11/27	札幌市ゲートキーパー研修会(基礎研修)	オンライン	2 名
12/14	職場適応援助者養成研修・支援スキルの向上研修修了者サポート研修	札幌市	1 名
12/14	令和 5 年度ギャンブル等でお困りの家族セミナー	オンライン	2 名
1/22	札幌市ゲートキーパー研修会(スキルアップ研修)	札幌市	2 名
2/14	障がい者雇用セミナー2023	オンライン	3 名
2/16	障がい者雇用セミナー「～障がい者雇用と就労継続支援の取り組み～」	オンライン	4 名
2/21	札幌市自立支援協議会就労支援推進部会さぼコン	札幌市	2 名
3/2	司法分野における社会福祉士の関与の在り方を考える学習会	札幌市	1 名
3/8	自死遺族のこころの理解と支援について	オンライン	2 名

(4)勤務時間

・支援に合わせて勤務調整を行い、問題なく運営する事が出来た。

(5)諸会議

- ・職員会議は協議する内容を簡潔にまとめる事が出来た。
- ・施設連絡会議等で法人内の情報についても共有を図る事が出来た。
- ・外部の関係機関との会議はオンラインが主であったが、参集形式での会議も再開した。
- ・就労支援推進部会、就業・生活相談室連絡会議等には参加し、情報共有を行なう事ができた。

【まごころ保育園 概要】

— 保育事業 —

1. <運営(保育)目標反省>

- 「すべてに暖かい保育」を原点とした保育理念の4つの言葉、「のびやかに たくましく すこやかに やさしく」を具体化し、一人ひとりに寄り添い、年齢や個々の発達に応じた心育ちを大切に丁寧な保育を目指します。
- 豊かな自然とのふれあい、戸外でのさまざまな活動通して、また、行事等の保育資源を活用し地域社会との交流やつながりを目指します。

(反省)

- ・「まごころ」らしい保育と法人の理念を保育に取り組みながら、子ども達と向き合うことができ、職員同士の連携を大切に丁寧なかかわりに力を入れることや心の育ちと体の育ちに繋げることができた。しかし、年齢や個々の発達をより深く理解する上では足りない部分があった。
- ・地域のかかわりは、少しずつだが広がり始めたので、コロナ禍前にできていた交流などを見直し、さらに継続していくことの必要を感じた。
- 2才未満児クラス目標
 - ・一人ひとりの豊かな心と体の育ちに繋がる暖かい保育を大切にする。
 - ・個々を認め、成長発達に寄り添った保育を中心に安心安全で様々な経験が出来る環境作りをした保育を大切にする。
- たてわり(3～5才児)クラス目標
 - ・異年齢の友だちとのかかわりの中でさまざまな経験を通して、仲間と考え合い自ら行動しようとする心育ちを大切に丁寧な保育を実践する。
 - ・自己発揮できる環境作りを目指し、期待や楽しさの中でさまざまなことに興味関心を持ち諦めずに挑戦しようとする意欲が育つ保育を大切にする。

(反省)

- ・子ども達らしい姿を認め合い、意欲を引き出すことを大切にした保育を行うことができた。しかし個々へのかかわりを深めるための保護者との共育てに力を入れていくことが課題でもあった。
- ・挑戦すること、あきらめないこと、達成感をもてることなどを目指し、子どもの気持ちに寄り添い保育を継続することができてきた。興味関心をもつ保育をもっとたくさん実践していくことが課題でもあった。

2. 保育の支援

(1)受け入れ目標 14,000 名(達成率 98%)

67 名までの入所目標

・入所園児数(3 月末日)

63 名入所(定員 60 名)

年間受入延べ人数

13,755 名

・特別支援事業

障がい児保育 5 名(5 才:1 名 4 才:3 名 3 才:1 名 3 月 31 日現在)

(2)在籍実績

・利用園児人数調べ

	年 齢 別 人 員												合 計
	0 才 児		1 才 児		2 才 児		3 才 児		4 才 児		5 歳 児		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
本年度へ繰越園児数	0	0	2	3	5	6	4	7	7	4	7	5	50
本年度中入所園児	0	6	4	3	0	1	0	0	0	0	0	0	14
本年度中途退園・卒園児	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	7	5	15
3 月 31 日在籍数	0	6	5	6	5	7	4	6	7	4	0	0	51
入園児総人数(H24 年～)	男:107 名 女:106 名 合計 213 名 (卒園児総数:130 名・3月 31 日退園児 15 名)												

・利用園児(入所)月別人数調べ

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実人数	59	59	60	60	60	62	62	62	61	63	63	63	734
入 所	10	0	1	0	0	2	0	1	0	2	0	0	16
退 所	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	13	15

・利用園児(一時保育)月別人数調べ

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実人数	2	4	2	3	4	4	2	1	2	2	2	2	30
延べ人数	3	11	8	7	8	10	4	1	6	7	10	5	80

・月別人数調べ(時間外保育)

標準 18:00～19:00

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実人数	17	23	20	15	13	19	15	18	20	20	27	25	232
延べ人数	51	64	60	55	56	72	57	52	71	53	65	78	734

(3)日課表

《 0才児/1・2才児 》		《 3才～5才児 》	
7:00	登園 混合保育	7:00	登園 混合保育
9:00	1・2歳未満児午前おやつ	9:20	3才以上児混合保育
10:00	クラス保育	10:00	クラス保育
10:30	0才児離乳食(月齢時間差有)		
11:15	1才児食事(2才児時間差有)		
12:10	午睡(年齢により時間差有)	11:30	食事
14:30	目覚め・着替え	13:00	午睡
14:40	午後離乳食(7/8か月以降児)	14:30	目覚め・着替え
15:00	1・2才児 おやつ	15:00	おやつ
16:00	1・2才児混合保育 随時降園	16:00	混合保育 随時降園
18:00	延長保育	18:00	延長保育
18:15	延長おやつ	18:15	延長おやつ
19:00	降園	19:00	降園

(4) 行事報告

- ・誕生会(毎月)
- ・園医小児科健診(3才以上児年2回 2歳未満児年4回 4/7/10/1月)
- ・避難訓練(毎月)第2週水曜日・火災・地震・不審者侵入・内水災害4つを訓練時間や職員人数、避難場所等を変更し消火器の場所確認、初期消火及び通報訓練を実施した。

月 日	対象年齢	行 事 名
4月 3日(月)	10:00～	第12回入園進級式
4月 28日(金)	10:00～	子どもの日のつどい
5月 22日(月)～5月 31日(水)	17:30～18:30	各クラス懇談会(月～水で実施)

6月13日(月)～27日(月)	16:00～18:00	0/1/2才児クラス個別懇談(各3日間)
6月16日(金)	10:00～11:00	春の交通安全教室(地域子育て交流)
6月12日(月)～6月26日	16:00～18:00	個別懇談(0才・1才・2才児)
6月26日(月)	10:00～	プール開き
7月8日(土)	9:00～	保育参観
7月10日(月)～28日(金)	16:00～18:00	たてわりクラス個別懇談(各4日)
8月7日(月)	10:00～	七夕会
9月6日(水)	10:00～	運動会総練習
9月9日(土)	9:30～	第12回運動会
9月15日(金)	9:30～	たてわり遠足
9月22日(金)	9:30～	みかん(2才児)遠足(法人バス利用)
10月6日(金)	9:00～15:00	たてわりバス遠足
10月27日(金)	10:00～	野菜収穫カレークッキング
11月16日(水)	10:00～	生活発表会総練習
11月25日(土)	9:30～	第12回生活発表会
12月上旬	10:00～	冬の交通安全教室
12月8日(金)	9:30～	もちつき会
12月25日(月)	10:00～	クリスマス会
12月28日(木)	10:00～	まゆ玉飾り
12月29日(金)～1月3日(水)		年末年始の休園
1月4日(木)	10:00～	新年開園日
1月4日(木)	10:00～	お正月の会
1月26日(金)	17:30～18:30	年長にじ組懇談会
2月2日(金)	10:00～	豆まき会
2月15日(木)	10:00～	スノーフェスティバル
2月14日(月)～21日(木)	17:30～18:30	各クラス期末懇談会(6日間)
3月1日(金)	10:00～	ひな祭り会
3月13日(水)	10:00～	卒園式総練習
3月16日(土)	10:00～	第12回卒園式
3月21日(木)	10:00～	お別れ会
3月30日(土)	10:00～	新年度準備

(5)事業(保育)目標反省

1. 保育の原点を振り返り、学びを深めた保育を実践する。

① 自己評価から保育所保育指針、子どもの年齢発達の学びをさらに深めるための

園内研修等を実施し保育の幅を広げることを目指す。

- ② カリキュラムの立案と振り返り等の記録の取り方を学び、パソコン導入を実施する。
- ③ おたよりの内容を精査し、保育の可視化につながるドキュメンテーションの導入方法や保育のポイントの押さえ方を学び、内容の簡易化を目指す。
- ④ 障がい児保育の理解と一人ひとりの支援方法を職員全体で取り組んでいく。
- ⑤ 人事考課についての理解を深め、職員の連携に繋げていく。

(反省)

- ①園内研修の時間確保は難しかったが、体験型の研修を多く入れることで話し合いを多く持つことができた。
- ②カリキュラムのパソコン化の準備を整えることができ、導入を始めることができた。
- ③写真の撮り方やメッセージ性を模索しながら、保育の内容を伝える手段ができた。お便りの簡易化も次年度より実施予定で進めている。
- ④障がい児の支援方法を職員全体まではなかなか進まなかったが、クラス間同士での連携を深め共通認識を深めることができてきた。
- ⑤人事考課と自己評価が交錯し実践することで精いっぱいだった。

2. 地域交流を広げる工夫をする

- ① ポブり活動の再開を目指して、内容を精査し地域社会のニーズを模索しながら必要な支援の継続に努める。
- ② 挨拶などの当たり前のことをしっかりと実践し、地域の方と顔見知りになるなど積極的に地域とのつながりを持てるよう努める。

(反省)

- ① ポブり活動は、地域の方々を呼び込むことが難しく次年度、方法を話し合い、定期的に取り組んでいく。
- ②散歩や公園で挨拶をすることや定期的に地域のごみ拾いをするなど少しずつ触れ合える機会が増えてきたので継続することを大切にしたい。

3. 施設の環境整備を必要に合わせ整える。

- ① エアコンの室外機の老朽化に伴い、補修工事を実施する。
- ② 3才以上児クラスのエアコンに代わる暑さ対策機器等の情報収集し対応を模索する。

(反省)

- ① エアコン室外機を取替工事は終了した。
- ② 3歳以上児の部屋の冷房機器は、電気容量がなくキュービクルが必要とのことで、法人に相談しながら計画を立てていく。それまでは、大型冷風機などの対策を次年度実施予定とした。

3. 職員の勤務状況

(1) 職員数・在籍者数

管理者	主任保育士	保育士	栄養士	調理員	事務員	嘱託医	清掃業務委託	合計
1	1	(7) 11	1	(4) 0	1	(2) 0	(2) 0	(15) 15

※()は臨時職員・パート職員 嘱託医・業務委託(清掃)人員数含まない

※ 正保育士 2名産休・育休(8月・1月復帰)

(2) 職員の異動

新 任			退 任		
発令年月日	職 名	人 数	発令年月日	職 名	人 数
R5.4.1	保育士/P 調理員	1名/1名	R5.7.31	保育士	1名
R5.8.21	P:保育士/調理員	1名/1名	R5.8.30	P 調理員	1名
			R5.9.30	保育士	1名
			R5.10.31	P 調理員	1名
			R6.3.31	保育士	1名

(3) 研修調べ

期 日	内 容	開催地	出席人数
5/23	栄養士・調理員向け研修	札幌市	栄1名
5/24・25	新任保育士等研修	札幌市	保1名
5/25	保育施設における深刻な事態の予防と対応	リモート	主1名
5/31	区幼保小連携推進協議会研修	札幌市	園/主2名
6/7	フィールドワーク研修	札幌市	保1名
6/27	Z世代の採用・育成のための3つのポイント	リモート	主1名
7/10	ハラスメント・コミュニケーション研修	札幌市	保1名
7/11	新任栄養士研修	リモート	栄1名
7/18	乳幼児のための食育研修	リモート	保1名
8/1	子どもの健康とメンタルヘルス	札幌市	保1名
8/1	第2回札幌市保育所職員研修	リモート	主保2名
8/7・8	新任保育士研修	札幌市	保1名
8/14	第3回札幌市保育所職員研修	リモート	主保3名

8/14~16	主任保育士研修	リモート	主 1 名
8/21~25	キャリアアップ研修 保護者支援	リモート	保 1 名
8/25~28	キャリアアップ研修 保護者支援	リモート	主 1 名
9/13	子どもの健康とメタルヘルス	リモート	保 2 名
9/30	障がい児等保育専門研修	リモート	保 1 名
10/3	厚別区ヨガ研修	札幌市	保 1 名
10/12	厚別区幼保小連携推進会議研修	札幌市	保 1 名
10/14~20	キャリアアップ研修 障がい児保育	リモート	保 1 名
10/20	乳児保育研修	リモート	保 2 名
10/27	私保連研修大会 基調講演	札幌市	主保 3 名
10/28	私保連研究大会 分科会	札幌市	保3名
11/11	子どもの権利擁護	リモート	保 1 名
11/11	人権を踏まえた保育実践	リモート	保 3 名
11/4~7	キャリアアップ研修 食育・アレルギー	リモート	主保 2 名
12/16~20	キャリアアップ研修 保険・安全	リモート	保 1 名
12/19	保育の中での支援	札幌市	保 2 名
12/21	保育現場で出会う障がい児その支援	札幌市	保 1 名
1/5	重大事故を防ぐ園づくり	リモート	保 3 名
1/16	札幌市医療的ケア児保育研修	オンライン	園主 2 名
1/19	教員・保育事故の予防に向けたセミナー	リモート	主 1 名
1/ 24	幼児・児童時期のネット・ゲーム依存の予防と対策	リモート	保 2 名
1/30	厚別区ヨガ研修	札幌市	保 1 名

(4)勤務時間

・他クラスと声を掛け合うなど連携、調整し合いながら問題なくできた。

(5)諸会議

・全員揃う会議や研修の実施は難しいが、記録の他に個々への伝達、確認方法を決め実施した。

・必要に応じて臨時会議をグループ分けして実施することで意見も出しやすい利点があった。

【幌西ほうおん概要】

一 生活介護・就労継続支援(B型) ～ 多機能型 一

1. 支援目標(反省)

- ・ 利用者の自立支援をはじめ、住み慣れた街での地域生活を支えるために、社会資源を活用した日中活動の提供を行なった。
- ・ 個々の能力や個別の状況に応じ、働くことや地域の方々とのコミュニケーションの機会を経験することで、地域の一員としての役割を感じる取り組みを行なった。

2. 利用者支援

(1)受入目標 5,389 名(達成率:92.9 %)

生活介護定員 15 名(契約数 25 名) ⇒年間延べ利用者数:4,171 名
 就労継続支援B型定員10名(契約数 5 名) ⇒年間延べ利用者数: 825 名
 合計 5,006 名

(2)在籍実績

①利用者人数調べ

区 分	人 員
2022 年度から本年度への繰り越し人数	26 名
本年度中の入所者数	3 名
本年度の利用者総数	29 名
本年度中の退所者数	0 名
差し引き本年度から2024 年度への繰り越し人数	29 名
平成 29 年 4 月 1 日開所以来の利用者数	44 名

②月別人数調べ(多機能)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
契約者数	28	28	28	29	30	30	30	30	30	30	30	31	354
延べ人数	404	430	418	403	449	422	434	392	420	385	404	447	5,008
開所日数	25	27	26	26	27	26	26	26	26	24	25	26	310
月平均	16.2	15.9	16.1	15.5	16.6	16.2	16.7	15.1	16.2	16.0	16.2	17.2	16.2
入所	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	4
退所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

③本年度退所者調べ

	男 性	女 性	合 計
他施設へ	0	0	0
家 庭	0	0	0
就 職	0	0	0
計	0	0	0

④本年度入所者調べ

理 由	男 性	女 性	計
他施設から	0	0	0
家庭から	3	1	4
その他	0	0	0
計	3	1	4

⑤在籍利用者 区分別調べ(月初日現在)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
障害支援区分6	11	11	11	12	12	12	12	12	12	12	12	13	142
障害支援区分5	8	8	8	8	9	9	9	9	9	9	9	9	104
障害支援区分4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
障害支援区分3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
障害支援区分2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	34
障害支援区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
未実施	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
計	28	28	28	29	30	30	30	30	30	30	30	31	354

(3)利用者日課

9:30	登園・バイタルチェック
9:45	朝の会、ラジオ体操
10:00	活動開始
12:00	昼食・休憩
13:30	活動開始
15:00	休憩・自由時間
15:30	掃除
15:50	帰りの会
16:00	帰宅

(4)事業所目標(反省)

①生活介護の活動内容の充実を図る。

・個別課題の種類を増やすことで、利用者の興味を引くことや、個々に合った課題の提供が出来た。創作活動では全員が一つの作品に関わる機会を持つことに意識することが出来た。運動活動では遊戯やリトミックなど苦手な方も参加出来る工夫を行った。屋外での余暇活動に取り組んだことにより、活動の幅が広がった。

②B型の収益を上げる。

・新規作業の開拓はできなかった。現状の委託を受けているカード作業や帯封作業に関しては、受注に対応できた。単価上がったことにより多少の収入増があった。カフェの営業について、夏まつり効果やリピーターが増えたおかげで客数が伸びたが、材料費高騰の波を大きく受けた。作業工賃の増額に値する増収には至らなかった。

③短期入所の稼働率を上げる。

・月3回の実施は継続できた。女性の利用が少なかった。宿泊訓練の機会にはなかった。

④施設内の環境整備に努める。

・園庭の草取りや菜園活動は、職員と利用者で関わる事が出来た。芝生の水やりは欠かさず行って来たが、雑草対策に苦戦した。館内の清掃は分担区域を決め清潔を保った。屋外物置と施設内物品収納庫の活用が進んだ。

⑤地域福祉の拠点としての役割を果たす。

・地域主催の夏まつりを当施設とその敷地で実施した。幌西ほうおんの広報誌について発行回数や時期について検討したが発行には至らなかった。会議室や多目的室の開放を再開し3団体の使用があった。ほうおん園は常に清潔な環境を保ち、多くの方にご利用いただけた。

(5)行事報告

月	日	曜日	行事等	施設内・外	利用者参加数
5	9 12	火 金	お花見会	五天山公園	18名
6	18	日	運動会	ノボロの丘小学校	15名
7	9	日	幌西夏まつり	幌西ほうおん	15名
8	4	金	七夕まつり	2階ホール	18名
9	23	土	報恩まつり2023	報恩まつり会場	18名
10	5 6 10	木 金 火	ハイキング	サッポロさとらんど	25名
12	22	金	クリスマス会	食堂、2階ホール	28名
1	5	金	新年会	食堂、2階ホール	22名

2	2	金	節分	2階ホール	19名
3	29	金	お疲れ様会	食堂、2階ホール	26名

3. 職員の勤務状況

(1) 職員数

管理者	サービス管理責任者	生活支援員	職業指導員	目標工賃達成指導員	事務員	調理員	運転手	看護師	協力医	合計
1	(1)	(2) 5	1	0	1	(2)	(1)	(1)	(1)	(8) 8

※()は臨時職員・嘱託職員・パート職員・兼務職員

(2) 職員の異動

新任			退任		
発令年月日	職 名	人 数	発令年月日	職 名	人 数
2023.4.1	施設長	1名	2024.3.31	支援課長	1名
法人本部からの異動			ホープス・サポート91へ異動		
2023.4.1	生活支援員	1名			
札幌報恩学園からの異動					
2023.4.1	職業指導員	1名			
グリーンホーム厚別からの異動					

(3) 職員の研修

日 程	研 修 名	開催地	出席者
2023.6.8	北海道サービス管理責任者更新研修	オンライン	1名
2023.6.20～28	北海道行動援護従事者養成研修	札幌	1名
2023.6.29～30	全道施設長研修会	札幌	1名
2023.7.31	障がい者虐待防止講座(基礎編・取り組み編)	オンライン	1名
2023.8.21	全国知的障害関係施設等会議	オンライン	1名
2023.8.25	施設長・管理者 権利擁護特別研修	札幌	1名

2023.9.12～21	北海道サービス管理責任者基礎研修	オンライン・札幌	1名
2023.10.13	全道知的障がい関係職員研究大会	札幌	1名
2023.11.6	利用者研修会実施のための職員研修会	札幌	1名
2023.11.7～9	リクスマネージャー養成研修会	東京	1名
2023.11.18	自閉症スペクトラム トピックセミナー	オンライン	1名
2023.11.29～	北海道行動援護従事者養成研修	オンライン	1名
2023.12.7	中核的人材養成研修報告と今後の取組みについての研修	札幌	1名
2023.12.12	幹部職員研修会	札幌	1名
2024.1.26	福祉施設財務分析 時業種別の課題と経営改善についての研修	オンライン	1名
2024.2.6	社会福祉法人経営実務セミナー	札幌	1名
2024.2.19～20	全道施設長研修会	札幌	1名

(4)勤務時間

- ・ 現行の勤務時間で特に問題はなかった。
- ・ 送迎時間については、冬時間で対応した。

(5)諸会議

- ・ 定例の会議については、予定通り実施することができた。必要に応じ随時臨時の会議を設け対応した。